

宮整広報



「生かす、生み出す、生き抜く」

これは、五月十七日、平成二十一年度
第一回通常総会に於いて、豊嶋会長が所
信表明の中で述べた言葉である。

豊嶋会長第1期執行部発足!!

平成21年度第1回通常総会（5月17日）	1
新執行部就任挨拶	
新会長挨拶	豊嶋良一 3
副会長	中川利光 4
副会長	木村清徳 5
筆頭理事	保険部長 櫻田裕 5
理事	総務部長 松元浩二 6
理事	経理部長 稲葉泰三 7
理事	学術部長 目時誠 7
理事	事業部長 大坂武史 8
理事	広報部長 亀井啓 8
監事	小野木馨 9
監事	太田作郎 9
組織機構	10
新会長より感謝状	11
東北ブロック再活動（報告）	13
宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 ミニ学会開催（6月20・21日）	
開催報告	15
疾患の重症度の評価に関するフィールドワーク — 中間報告(1) —	
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会	24
文部科学大臣杯争奪 第18回日整全国少年柔道大会予選宮城大会	
平成21年度宮城県少年柔道大会（4月26日）	33
「AED」救命手当講習	35
SVM活動報告 仙台市青葉まつり救護活動（5月16・17日）	36
平成20年度後期事業・活動報告	
12月10日 JA共済連宮城連絡会議報告	37
1月11日 新年会	38
1月24・25日 機能訓練指導員認定柔道整復講習会報告	39
3月15日 平成20年度第2回通常総会	40
医療功労賞受賞「読売新聞社主催・第37回医療功労賞国内部門」	中川久秀 41
宮整温故知新	日下治夫 44
宮整ゴルフコンペ開催報告	46
ゴルフと我が人生	宮整・ゴルフ愛好会会長 小野木馨 47
風見鶏	48
新入会員紹介	51
SVM活動報告（H20・12～H21・5）	53
会務報告（H20・12～H21・5）	54
宮城学術認定柔道整復師名簿	56
宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員	57
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定	66
訃報	69
編集後記	69

平成21年度 第1回通常総会

平成21年5月17日(日) 開催
フォレスト仙台 午前9:30～

平成二十一年五月十七日(日)、フォレスト仙台を会場に定刻九時三十分、松元浩二理事の司会で豊嶋良一副会長の開会の辞より平成二十一年度第一回通常総会が開会されました。

最初に、上泉昌隆会長より挨拶がありました。その中で、三期六年にわたる会長としての務めの中で各期で副会長に支えられてきたことや各理事者に精力的に働いてもらったこと、会員一人一人に多大なる協力をしていたことなどへの感謝の意、無借金で今の会館落成に至ることができたことへの回顧、事務局長代理として将来構想を様々な観点から見直したこと等々が述べられ、「反



省あれども悔いはなし」との言葉で挨拶を括られました。

議事に入る前に、読売新聞社主催、第三十七回「医療功労賞」受賞の中川久秀会員が表彰さ

れ、当会より記念品の贈呈が執り行われ、続いて感謝状贈呈、永年会員



表彰、新入会員紹介と進みました。

その後、議長に大橋良雄会員、副議長及川靖会員、議事録署名人に池田昭平会員、藤井裕文会員が選出され議事に入り第一号議案から第四号議案まで滞りなく承認され第五号議案では役員改選があり、豊嶋良一新会長を筆頭に副会長、理事、監事が信任承認され新役員が誕生しました。

最後に中川利光副会長による閉会の辞で平成二十一年度第一回通常総会は無事閉会されました。

永年在籍被表彰会員

四十年在籍

土田 洋光 会員

三十年在籍

佐藤浩次郎 会員

山内 四郎 会員

高橋 隆一 会員

本田恵之助 会員

郡山 善郎 会員

二十年在籍

伊藤 幸夫 会員

佐藤 勝一 会員

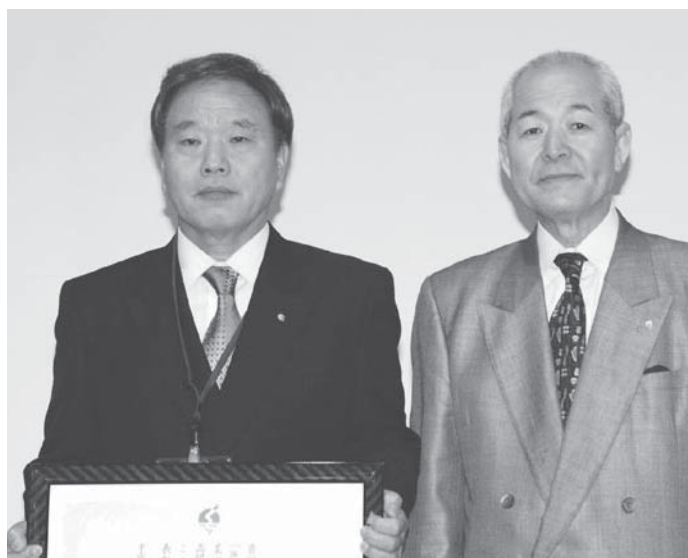
千葉 昌彦 会員

佐々木弘俊 会員

西島 眞幸 会員

大和田 智 会員

笹森 雅元 会員





第1期執行部 発足!!



会長挨拶

宮城県柔道整復師会 会長 豊嶋 良一

先般の第一回通常総会、新役員選任におきまして会長にご信任賜りましたこと心より御礼申し上げます。

さて、新執行部が歩み出して三ヶ月が過ぎようとしています。その間各方面から色々なお言葉を頂き責任の重大さにさらに身の引き締まる思いが致します。

現在、各部の部員も決定し、やつと櫓を漕ぎ出したところですが、先ずはこれまでの良いところ、必要なところはさらに牽引を続け、時間をかけても良い分野との見極めを明確にし、地に足をつけた執行をしていきたいと思えます。

また以前より述べておりますが当面の重点目標と致しまして「会員の収入アップ、互助会の充実、公益法人化の取得」を掲げ、本会の年間事業、新たに東北ブロックの事業等を粛々と進めていく予定です。

会員も四〇〇名に近づきつつありますが、四月に入ってから保険を管

轄している行政の動きもあり、少数の会員が調査の対象になりました。対象になった会員皆様の冷静なる対応、担当保険部長の機敏なる行動により大きな問題もなく終了しつつあります。しかし、行政の権限が地方自治体に移行しつつある今、我々の予想を超えるトラブルが発生したり、地域社会から敬遠されるような事態になれば社団として大きな影響を受けることは必至です。出来る限り問題が起きないように努めて参ります。そのような中、六月二十日、二十一日と第一回ミニ学会が催され、大変な評価を受け、参加者も三百名を越えたとのこと、心強い限りです。今後も公益事業、柔道整復学構築学会等を前面に出し、執行部と事務局が一丸となり、皆様のご指導を仰ぎながら、会員のメリットを一番と考え取組んでいく所存ですので宜しくお願い致します。

新執行部就任挨拶

副会長 中川 利光



この度、平成二十一年度第一回「通常総会役員改選」におきま

して、副会長の重責をご信任賜りましたこと、只々身の引き締まる思いで一杯でございます。心より御礼申しあげます。

■**精進** 役職遂行にあたり、「役を知り」、「役に徹し」、「役を超えない」を旨とし、豊嶋「新」会長が示唆する「創造の世界」に共存させて頂きます。副会長として立ち振る舞いの美しい私となれますよう一層の「精進」をいたす所存でございます。

■**パイプ役** 会長と理事、執行部と会員との風通しのいい「パイプ役」として、一生懸命貢献させて頂きます。何なりとお申し付けいただきますようお願い致します。

■**東北ブロック** 五月三十日(土)東北ブロック再活動にあたり、「第二回東北ブロック理事会」に、豊嶋会長とともに、東北ブロック理事として出席させて頂きました。

理事会議題でありました、「宮城県について」においては、『過去の休会の経緯一切を水に流し、今後この事に一切触れない』とすることを、東北ブロック鎌田会長はじめ、秋田・青森・山形・岩手・福島県、各東北ブロック全理事の、あたたかなご海容の御心のもと「議決」されました。

また、私こと僭越ながら「ブロッ

ク学術担当理事」に任命される事となり、その重責に身を引き締めまして、微力ではありますが尽力いたす所存でございます。

□**穏便なる再活動** 東北ブロックの「穏便なる再活動」は、上泉前会長の筆舌表し難い多大なるご尽力の賜物であった事を、謹んで広く会員皆様にお伝え申しあげますとともに、紙面をお借りいたしました。改めて上泉前会長に衷心より感謝と御礼を申しあげます。誠にありがとうございます。

■**正しい選択** この度の役員改選にあたりまして、上泉前会長が心血を注がれた「東北ブロック再活動」を政争の「具」とし、ありもしない嘘八百を並べ立て、純粹なる会員を惑わす、不純な失態劇もありましたが、正に「雨降りて地固まる」の例えのごとく、聡明なる会員皆様のご「正しい選択」を頂きまして、豊嶋「新」会長の元、心一つとなった強固な新執行部が、今執行されているところでございます。

■日整代議員 日整代議員並びに生涯学習委員会委員といたしましたして、「中央だから出来る事」、「地方だから出来る事」の是々非々を論議し、当県の正しい発信者の担い手として、真剣に取り組んでまいります。

■払拭 私はよく、堅物と思われがちですが、自称やわらかく結構面白い人間だと思っではいるのですが、いかんせん不徳の致すところと大いに反省しております。お気軽にお声掛けいただきまして、何なりとお申し付けいただき、堅物を「払拭」して頂ければこの上ないよろこびとするところでございます。

■頑張ります 公平無私に攻守処を違えず、「声なき声」に真摯に耳を傾け、会員皆様のご教授を大切に、一生懸命頑張つてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

副会長 木村 清徳



この度、会員の皆様から副会長としてご信任を賜りまして深く感謝を申し上げますとともに、重責を痛感しております。

社団会員になりましたから30年目の節目の年に執行部の一員に就くとは、正直に言っただけでもいけませんでしたが、前上泉会長、新豊嶋会長、中川副会長のご推薦もあり職に就くことになりました。

これまで評議員会議長、SVM石巻地域代表、柔道大会推進委員会委員長として活動してきた経験を生かし、新体制の方針に沿って副会長としての任務を果して参りたいと思います。

先般、信任時の挨拶の際一言申しましたが、社団会員として柔道整備

師倫理綱領の理念と目的達成に打ち込むが大切でありますとともに、特に日本古来の柔道精神、道徳心を自然に練り鍛えていくことに努めたいと思っております。

ベストセラーになった藤原正彦著「国家の品格」の言葉をかりれば「柔道整備師の品格」を会員皆様とともに育成しましょう。また、新会長の先を見据えた「公益社団法人」を目指し、柔道整備師会会員一人一人の発展のためにも皆様とともに真摯に取り組む所存ですので、今後ともよろしくご指導、ご協力の程をお願い申し上げます。

筆頭理事 櫻田 裕



このたびは会員の皆様からご信任をいただき、筆頭理事並びに保険部

長として新たな二年間を迎えるにあたりご挨拶を申し上げます。これまで保険担当としての6年間において、療養費、自賠責を含む交通事故施術、介護保険分野について微力ながらも尽力して参りました。

これまでの取り組みとしては、①業務をより一層充実させるべく、情報の伝達と共有をはかる。②保険業務に対し、請求から支払いの確認まで、より以上の責任と密度を持つての関与。③柔道整復師および柔道整復業務について、関係各方面への積極的啓発と理解の取得。を基本方針として会務を行なって参りました。今後の2年間においては、会長の指針とする「生かす、生み出す、生き抜く」のコンセプトに沿って、これまでの取り組みを適確に分析し、新たな方策を立て、「会員のための会」の実現を念頭に取り組んで参ります。つきましては、今年度の事業として、SVM県内11地域において、地域別保険研修・懇談会を企画いたします。療養費、交通事故関連、介

護保険の各分野において、より細やかな情報提供を行なうとともに、会員の皆様のご意見をお伺いいたします。最後に、宮城県柔道整復師会に入ってよかったといえるように、そして、それが「日本一の柔道整復師会」となるように皆様とともに歩んできたいと思います。何卒ご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

理事 松元 浩二



このたび平成21年度第1回通常総会役員改選におきまして、(社)宮

城県柔道整復師会理事として、会員の皆様よりご信任頂きましたことを心より御礼申し上げます。

また、先日開催されました役員会にて総務部長を拝命いたしましたので、新たな二年間を迎えるにあたり

りご挨拶申し上げます。

前職務は、学術、総務担当(平成20年度)理事と二つの役職を掛け持ちしながら、会員の為に今出来ることは何だろう、何が必要なのか?をいつも問いただし、私なりに全力で活動した二年間だったと思っております。新体制後も、第1回ミニ学会の開催・成功に向け、前任者の責務として新担当と連携を取りながら全力で取り組み、皆様のご協力のもと、盛会裏に終了させることが出来ました。

これらを含め、いくつかの反省点を分析しながら今後の活動の糧にして行きたいと思っております。

また、新執行部において任命された総務部は、(社)宮城県柔道整復師会全体の運営に関する事務を処理する部門、すなわち全体的な経営管理を行う部門といえます。これは総務が管轄する業務は勿論のこと、会長、副会長、各担当部長、各担当部員の活動をさまざまな形で補佐、支援し、全体的に効率よく会の執行が取り計

れるように管理する役割を持つています。これらの事をしっかりと認識し、事務局と連携を取りながら会員の皆様のさまざまな支援を行って行くかと思えます。

そして新執行部の一員として、豊嶋会長が目指す、会員の収入アップ・互助会の充実・新公益法人取得等の総務管轄業務に最善を尽くし、努力して行く所存でございますので、会員の皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を改めてお願いし、私の抱負とさせていただきます。

理事 稲葉 泰三



平成21年度通常総会役員改選におきまして、会員皆様よりご新

任賜り心よりお礼申し上げます。新組織機構におきまして僭越では

ございますが、経理担当理事を拝命いたしました。会長、副会長をはじめ会員皆様にご指導をいただきながら、新執行部の一員としての役割を果たしていくことに、緊張の中にも努力をする喜びを強く感じております。

経理担当にありましては、豊嶋良一会長が示唆されました「生かす、生み出す、生き抜く」を基本に据えながら、会員のための有益な予算の運用、正確且つ透明な予算の運用をしていく所存でございます。

柔道整復師として一人一人が、社会的責任ある姿勢を求められる今、まさに《生き抜く》ために、そして会員の皆様のご期待にそえるよう、全力で責務を果たしていくことをお誓いいたし理事就任の挨拶とさせていただきます。

理事 目時 誠



GMの経営破綻に代表される世界的な不況、ねじれ国会のまま空転

を続ける国政に高まる国民の政治不信など暗い空気が蔓延する今日、我が業界を取り巻く話題も、公益法人基準の見直しや過剰問題など、決して明るいもの、安閑としたものではありません。

このような、柔整にとって大変重要な時代、局面の時に、理事に就任させていただきましたことに、前向きな意味において、非常に強い緊張感を感じております。私個人は何の力も有しない者でございますが、豊嶋新会長のもと、新執行部の歯車の一つとして、他の歯車としっかり噛み合いながら、たゆまず回り続けることで、一つの力、成果を産出し続

ける所存でございます。

会員の皆様を代表させていただく
当会理事として、何よりも「実務
的であること」「機能的であること」
を常に自らの念頭に置き、会務に向
かわせていただきますので、折にふ
れ、会員皆様の、前衛的な声をどん
どんお聞かせいただきますことを切
にお願ひ申し上げます、御挨拶にかえさ
せていただきます。

理事 大坂 武史



過日の総
会において、会員の
皆様に理事
としてご信
任賜りまし

たこと、心から御礼申し上げます。

これまで二期四年間、上泉前会長
の下、執行部の諸先輩に導かれ理事
として、多くのことを学ばせていた
できました。中でも上泉前会長の会

員を思い自ら先頭に立って実践する
強い意思とその姿勢を間近で体感出
来ましたことは、私自身とても大き
な学びとなりました。新たに迎える
この二年、その学びを手本とし、豊
嶋良一会長率いる新執行部の、事業
部担当理事として、これまでの事業
の充実を図る一方、時代を見据えた
事業のあり方を検証し、より公益
性の高い事業の企画、実施に取り組
んで参ります。また、これまで当会
を牽引されてこられた諸先輩のご苦
労を知り、新たな担い手となる若い
先生方と共に楽しく、そして情熱を
持つて宮城県柔道整復師会の発展に
微力ながら、邁進して参ります。
会員の皆様には今後とも変わらぬ
ご支援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

理事 亀井 啓



この度、
理事就任の
ご承認をい
ただきまし
て真にあり
がとうござ
いました。心より感謝申し上げます。
就任に当たりまして、左記のこと
を皆様にお誓いいたします。

記

一、対外的に、宮城県柔道整復師会
を多くの方々に正しく理解をして
いただけますように、さらに、良
い印象を持っていただけますよう
に、努力、セツティングをしていく。

二、対内的には、広報誌を通じて、
会長の意向、会務の執行を正しい
情報として会員の皆様にお伝えす
る。逆に、会員の皆様から疑問、

悩み等々のご意見をいただき、会長に伝え会務に反映させていく。

三、会の将来の発展に向けて、若手会員の皆さんの育成に協力。

監事 小野木 馨



この度、宮城県柔道整復師柔整師会の監事としての任務を引き受

ける事に成りました、小野木です。

柔整師の将来を予測出来ない激動の時代に入っています。時代の流れで、昨年の12月より行政改革として、新しく公益法人（社団、財団）制度が発進致しました。この新制度により、法人の設立と「公益性」の認定が分離します「公益社団法人や財団法人」になりたい団体は「公益性」の認定を別にもらわないと、公益団

体の看板を名乗る事が出来ません。既存の公益法人は、暫定措置として「特例民法法人」となって存続、移行や認定手続きを進める事になります。

現行法から新法に認可されると監事の権限が強化され、理事会が設置する場合は、理事会による業務執行を監査するため、出席義務・報告義務も明確にされます。このように監事と理事は職務上対立の地位となります。任期中は会員のための財産を守るため、会の財産の状況と理事の業務執行を監査し、会員の意見を聴き責務を果たしたいと思えます。

監事 太田 作郎



この度、監事に信任いただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

重要な役ですが、これまで部員と

して総務・学術・保険部・審査会等にて先輩先生より教え頂いたものを基として当たりたいと思っております。

社団の制度が変更されているこの大変な時期、これまで築き上げてこられた宮城県柔道整復師会が、これからも「会員のための会」であるように、安心して業務ができるような柔整師会であるように、そしてしっかりとした組織になっていくよう、柔整師会の財産の状況、そして会の業務・行事執行状況等の監査をしっかりと務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「ひまわりの花言葉」

憧れ・崇拜・愛慕・敬慕・
熱愛・光輝・高慢
あなただけを見つめている
あなたは素晴らしい

社団法人宮城県柔道整復師会 組織機構

特別顧問	医事評論家	水野 肇	名誉会長	上泉 昌隆	
顧問	医学博士	佐藤 捷	相談役	日下 治夫	洞口 直
顧問	衆議院議員	土井 享		柴田仁市郎	大橋 良雄
顧問	衆議院議員	中野 正志		及川 靖	
顧問	衆議院議員	小野寺五典	評議員会議長	寺澤 豊志	
顧問	参議院議員	愛知 治郎	評議員	田母神 茂	高橋 武彦
顧問	参議院議員	桜井 充		洞口 史朗	松川いずみ
顧問	宮城県議会議員	菊地 浩		佐々木裕忠	小野まり子
顧問	宮城県議会議員	今野 隆吉		阿部 義浩	

役 職	氏 名	担 当	部 員 (○は主任)	管 轄
会 長	豊嶋 良一	日整代議員(情報戦略会議委員) 東北ブロック理事		
副 会 長	中川 利光	日整代議員(生涯学習委員) 東北ブロック理事		・公益事業企画推進
副 会 長	木村 清徳			・社団事業企画推進
理 事	松元 浩二	総務部長	○藤本 淳也 別府 崇幸	・会員動向管理 ・総会、理事会、評議員会開催 ・事務局管理 ・公文書管理 ・会館保守管理 ・事業計画 ・施設所開設指導 ・互助会
理 事	稲葉 泰三	経理部長		・入出金管理 ・予算決算財産管理 ・会員税務指導 ・療養費支払い管理
筆頭理事	櫻田 裕	・総務・経理・保険・学術・事業・広報 統括		
		保険部長	○藤井 裕文 齊藤 拓幸 柴田 道文 尾形 謙	・宮城県柔道整復療養費審査委員会 ・療養費の取り扱い ・保険審査、指導 ・自賠責保険 ・介護保険委員会
			佐藤 勝一	・リスクアセスメントアドバイザー
理 事	目時 誠	学術部長	○岩佐 和之 本木 利之 櫻本 和夫 若生 壮司	・宮城県「柔道整復学」構築学会 ・宮城学術認定柔道整復師認定委員会 ・宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 ・柔整スクール ・生涯学習 ・研修企画
理 事	大坂 武史	事業部長	○林 伸也 佐々木俊夫 越後 勇人	・新規事業開発 ・柔道大会推進委員会 ・SVM ・SVM 福祉募金箱 ・子供とお年寄りの避難所 ・スペシャルオリンピックス日本宮城 ・NPO みやぎ災害救援ボランティアセンター ・会員相互扶助、親睦
理 事	亀井 啓	広報部長	○佐藤 敬一 平山 修	・広報 ・ホームページ管理 ・広報ワーキンググループ
監 事	小野木 馨 太田 作郎			
柔道整復整骨医学会評議員			上泉 昌隆	中川 利光 亀井 啓 目時 誠

選挙管理委員会

委員長 寺澤 豊志
副委員長 酒井 賢一
委員 千葉 勝弘
林 伸也
藤本 淳也

(任期 平成21年4月1日～23年3月31日)

宮城県柔道整復療養費審査委員会

副委員長 櫻田 裕
委員 中川 利光 亀井 啓
日時 誠 松元 浩二
稲葉 泰三

柔整スクール

顧問 柴田仁市郎
校長 上泉 昌隆

広報ワーキンググループ

主任 庄子 和良
委員 千葉 勝弘

宮城県「柔道整復学」構築学会

名誉会長 水野 肇 医事評論家
(社)宮城県柔道整復師会
特別顧問
会長 豊嶋 良一 (社)宮城県柔道整復師会
会長
副会長 佐藤 捷 帝京大学医療技術学部
柔道整復学科教授
医学博士
筆頭理事 日時 誠 (社)宮城県柔道整復師会
学術担当理事
理事 松元 浩二 (社)宮城県柔道整復師会
総務担当理事

宮城学術認定柔道整復師認定委員会

委員長 佐藤 捷 帝京大学医療技術学部
柔道整復学科教授
医学博士
委員 豊嶋 良一 宮城県「柔道整復学」構築学会
会長
(社)宮城県柔道整復師会 会長
鈴木 省三 仙台大学体育学部体育学科長
教授 学術博士
高橋 武彦 赤門鍼灸柔整専門学校
教務課主任
日時 誠 (社)宮城県柔道整復師会
学術理事
岩佐 和之 仙台接骨医療専門学校
非常勤講師

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会

委員会特別顧問 佐藤 捷
委員長 酒井 賢一
委員 庄子 和良
委員 新井田一吏

介護保険委員会

委員長 佐々木弘毅
委員 神成 史也
工藤 健人
佐藤 秀俊

接骨院ボランティア宮城

幹事長 新井田一吏
副幹事長 皆谷 哲也
地域代表

気仙沼・本吉地域 中川 秀久
石巻地域 大江 強
登米地域 中島 正彦
栗原地域 西島 眞幸
大崎地域 紺野洋一郎
仙台北地域 林 伸也
仙台(泉)地域 小野 郁生
仙台(青葉)地域 齋藤 拓幸
仙台(宮城野)地域 久野 貴史
仙台(若林)地域 千葉 勝弘
仙台(太白)地域 渡邊 一治
仙台(南)地域 池田 昭平
仙南地域 大宮 茂

子供とお年寄りの避難所

代表 豊嶋 良一
避難所 全会員施術所

柔道大会推進委員会

委員長 木村 清徳
副委員長 高橋 昭則

※全国柔道連盟登録担当 事務局

スペシャルオリンピックス日本・宮城医療委員

副医療委員長 新井田一吏

特定非営利活動法人 みやぎ災害救援ボランティアセンター

理事 新井田一吏
委員 庄子 和良

●●●●● 新会長より感謝状 ●●●●●

この度、当会発展に多大なるご尽力くださいました、熊谷忠雄会員並びに上泉昌隆会員両氏に、新会長豊嶋良一より、感謝状が授与されました。

■熊谷忠雄会員は、当会相談役としての重責を担い豊富な経験と知識を持って会発展に、ご尽力くださいました。

先生は、農山地域において六十一年、

柔道八段
高段者と
して青少年の健全育成や体育教会会
員、また
運動施設
建設実行
委員長として、健
康教室を
開設しま



して保険福祉向上に、さらには、栗原会代表として地域住民の健康維持にと貢献されてきました。その功績がみとめられました。平成九年第二十五回「医療功労賞」（読売新聞主催・厚生労働省後援・エーザイ協賛）の地方表彰の受賞の榮譽に輝かれました。その先生のご功績を讃えまして感謝状が授与されました。

■上泉昌隆会員は、長きに渡り当会理事、監事、副会長を経て、当会第八代会長として務められました。

現在の会館建設の責任者として、または会員による会員の為の会を推進し常に会員を主観とした事業に積極的に取り組みされました。

歴代会長の意向にぶれることなく継承され、当会の長きに及ぶ大改革を貫き通されました。

激動期の後半期、宮城県独自の「柔道整復学」構築学会を立ち上げ、また事務所改革に心血を注ぎ、会

と会員の財産の安全安心を確立されました。さらには、SVMの成果をフィールドバックし、より地域に密着した「子供とお年寄りの避難所」の開設に奔走されました。そして、県内全二十四署の警察署との協定と共に三市一町との協定を締結されるなど、精力的に活動され、当会の社会的評価向上に多大なる貢献をされました。その功績を讃えまして感謝状が授与されました。



（文責 中川利光）

東北ブロック再活動について (報告)

当会は、遡る事十五年前、業界の将来を展望するに当たって、公益法人として今、社会から何が求められ、何をしなければならぬのか、また何が必要なのか、そして執行部に、会員に課せられている使命とは何かを真剣に論議し、「Think globally and Act locally」(大局を見極め足元から実行する)を基本に、公益法人の「尊厳」(権利)を守り、その「社会的責任」(義務)を果たす事を目的に、その手段として各種公益事業を通じ、社会参加を果たしてきました。結果、医療社会の一翼の担い手として、社会的認識や認知を頂きながら貢献し続けています。

さらには、会員による会員の為の社団として、入会金無し、賦課会費1%を実行するとともに、会員の執行部への依存型から参加型への組織機構改革を推し進め、委員会制度をも確立、積極的なる会員参加による事業運営がなされています。

また、柔道整復学構築が叫ばれて久しく、地方としてただ待つので

はなく、中央とは別に地方にも出来る事があるはずと言う機運の高まりと、ブロック開催の学会参加が距離と時間によって制約され容易ならぬの声に憂慮し、学の構築と会員全てが距離と時間に制約されることなく参加できる、「宮城県柔道整復学構築学会」を設立。大盛会裏に開催しています。

このような公益事業の成果とともに、会員による会員の為の社団作りや学会設立などの相乗効果が功を得まして、急激なる会員増加を見るに至りました。このことに伴い、事務局改革が急務となり、徹底したIT化へと刷新され、健全財政によって、社団並びに会員の財産が安全安心のもと管理されているところです。

当会の二十一世紀に生き残りをかけた、長きに及ぶ大改革激動期を経た後半期、平成十六年度、臨時総会において、会員総意のもと目的達成の為、止む無く東北ブロック会を休会とさせていただいていた経緯がありました。平成二十一年度、

五月本総会におきまして、前述のような大いなる成果と、次なるステップへと進むにおいて、『昨今、柔整師養成校の激増に伴う有資格者の増加と卒後研修の充実の課題。さらには社会的評価、療養費制度、資格制度などの問題。また、規制緩和の反動により新たに生まれた規制に伴う厳しい時代を迎えています。進歩発展の時代から、「調和と連帯」による共生もまた求められています。

さらに、政治、行政にも我々の歴史、伝統と心根をしっかりと訴えて一人で出来ることでも、団結して行動し、骨太の組織にする時です。このような現実を鑑みた時、当会は東北や全国へと発信していける中身ある集団（団体）として、東北ブロック会再活動によって、更なる発信地「宮城」となれる事を確信しているところですよ（前上泉昌隆会長談より一部抜粋）との意向の元、東北ブロック会再活動が会員総意を持って承認されました。

この事を受けまして、「第二回東

北ブロック理事会」に、豊嶋会長とともに、東北ブロック理事として出席させて頂きました。

理事会において、休会期間における諸問題については、「過去の休会の経緯一切を水に流し今後このことに一切触れない」とすることを、鎌田会長はじめ、秋田・青森・山形・岩手・福島県、ブロック全理事の寛容なるご配慮のもと、「議決」されました。

今後、宮城県に出来る事、そして東北ブロック会を通して発信できる

事を真剣に論議し、且つ発展の一助となりますよう参加してまいります。

また、前上泉会長が、二十一世紀を見据えた公益法人の在り方と、会員による、会員の為の会創りとともに、事務所改革に大鉦を振るわれ刷新されました。正に心血を注ぎ続けられたその信念を、私達は真摯に学習し、正しく継承しながら発展させなければなりません。

以上、ご報告いたします。
(文責 中川利光)

平成21年度 (社)日本柔道整復師会 東北ブロック 役員名簿

相談役	高橋四郎	秋田県
〃	斎藤尚道	青森県
会長	鎌田光教	秋田県
副会長	小山健	山形県
理事	遠藤寿之	福島県
〃	大河内誠二	福島県
〃	豊嶋良一	宮城県
〃	中川利光	宮城県
〃	及川磨	岩手県
〃	大河原孝	岩手県
〃	佐藤金一	青森県
〃	関裕二郎	青森県
〃	秋元宗武	秋田県
〃	後藤忠史	山形県
監事	大河原徳夫	福島県
監事	佐藤環	秋田県
事務局長	後藤忠史	山形県
事務局長	本宮仁	山形県
学術担当	中川利光	宮城県
生涯学習担当	遠藤寿之	福島県
広報担当	秋元宗武	秋田県
保険担当	関裕二郎	青森県
柔道担当	及川磨	岩手県
選挙管理委員	及川磨	岩手県

宮城県「柔道整復学」構築学会

第1回 ミニ学会開催

平成21年6月20・21日 開催

～会員の絆づくりの架け橋～ について（ご報告）

延べ300名超参加

平成二十一年六月二十日(土)から平成二十一年六月二十一日(日)の二日間、一泊二日にて第一回ミニ学会が、太白区の茂庭荘にて開催されました。

宮城県「柔道整復学」構築学会の母体を支えている(社)宮城県柔道整復師会の方向として、宮城県「柔道整復学」構築学会開催は隔年開催と決定しております。(予算的な問題、次へのスキルアップの為の時間的問題等)しかし、柔道整復師業務を科
学し、整理体系化しながら「柔道整復学」を構築する事を目的とする学会の為には、何としても毎年開催が必須です。それならば、宮城県「柔道整復学」構築学会隔年開催の間に、会員の懇親も含めた参加会費を徴収する形での学会開催を模索し、この度第一回ミニ学会として開催する事が出来ました。これは平成十九年二月に一泊二日で開催した宮城柔整スクール一泊セミナーin松島を引き継ぎ発展させたものです。

ミニ学会と称しても、内容は宮城

県「柔道整復学」構築学会と何ら変わりなく開催する事を信条とし、何がミニなのかといえば、全体的な予算がミニだというだけのものです。予算的な問題をクリアするためには参加者の皆様より会費を徴収しそれを学会経費に充て込むことで、学会の毎年開催が出来た訳です。

またもう一つの目的は、テーマにも有りますように、会員の絆づくりの架け橋と成りうる一泊二日の開催形態により、学会で講演頂く先生方との距離を短くする事、学会会場ではなかなか聞けない事までも宴席で懇談が出来る事、そして宮城県「柔道整復学」構築学会会員の生涯学習を基盤とした会員相互の懇親をも含めた研修会である事。また、学会を賛助会員として支えて頂いている医療機器関連業者様と学会会員との融和。これらを目的とした学会が今回開催しました第一回ミニ学会だったので、これらの目的に賛同頂いた講師陣だけをお迎えした学会となった訳です。



また宮城県「柔道整復学」構築学会が本物の学会として世間に認めて頂くためには、たとえミニ学会であろうとも宮城県と仙台市に後援（条件がかなり厳しい）をして頂いたという事は、今後学会の更なる発展の為には非常に重要なことでした。

二日間にわたり開催しましたミニ学会を振り返りますと、特別講演では、東北厚生年金病院 整形外科 主任部長の佐野徳久先生による「人工股関節（開発の歴史と手術の実際）」というテーマで、私たちが治療で遭遇する股関節の疾患から人工

股関節の手術の実際を学びました。もう一つの特別講演は、(社)日本柔道整復師会 学術参与の山口祐司先生による「柔整的手指損傷の処置と固定法について」というテーマで、柔整師だから出来る、柔整師しか出来ない治療を教えて頂いたと思います。保険関連講座では、日本興亜損害調査株式会社 医療顧問の沼田益偉氏による「柔整師治療と自動車保険」というテーマで自賠責保険のし



くみ、治療の進め方等を学びました。そして、宮城県が柔道整復学を構築していく為に必要な、宮城県「柔道整復学」構築研究委員会の中間発表、私的研究会発表（構築研究委員会が研究に必要とする指定テーマでの発表）、治療についての討論、会員研究発表、理学療法分科会では賛助会員の医療機器業者として学会会員伝えたい治療法を学ぶ事が出来ました。二日間にわたり各講演者と学会に参加した皆様が一体となった学会であったと思います。

参加頂いた会員、準会員、学生、東北各県の柔道整復師養成学校関係者の皆様方に非常に高い評価を頂きまして、大盛会に終了する事が出来ました事をご報告申し上げますと共に、これからの学会体系を確立する基盤を作り得た価値ある事業であったと確信しております。

最後にミニ学会役員・ミニ学会実行委員の方々のご協力、ご尽力に感謝申し上げます。

（文責 松元浩二）

宮城県「柔道整復学」構築学会

第 1 回 ミニ学会

メインテーマ ～ 会員の絆づくりの架け橋 ～

日 時：平成 21 年 6 月 20 日（土）～ 平成 21 年 6 月 21 日（日）

会 場：茂 庭 荘 ～心やすらぐ天然温泉の宿～

仙台市太白区茂庭字人来田西 143-3

TEL：022-245-5141（代）

タイムテーブル 6/20（土）

No. 1

日 付	時 間	講 演
6/20（土）	15 時 30 分	開 会 式
	15 時 40 分	私的研究会発表 ○齋生会（15：40～15：55） 「筋硬度からみた手技療法の一考察」 ○岩佐接骨院勉強会（16：00～16：15） 「B-mode 超音波画像観察と臨床所見」 腓腹筋内側頭挫傷（肉離れ） ○医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会（16：20～16：35） 「いわゆる筋損傷の分類～ハムストリングス肉ばなれの経験から～」
	16 時 40 分	会員研究発表
	16 時 55 分	○笹沼 政實・藤井 裕文会員（16：40～16：55） 「スポーツ障害などの栄養問題」
	17 時 00 分	特別講演Ⅰ 「柔整的手指損傷の処置と固定法について」（固定法の考え方とその方法） 社団法人 日本柔道整復師会 学術参与
	18 時 00 分	北豊島医療専門学校専任教員 柔道整復師 山口 祐司 先生
	18 時 05 分	特別講演Ⅱ 「人工股関節 ～開発の歴史と手術の実際～」 東北厚生年金病院 整形外科主任部長
	19 時 05 分	宮城県柔道整復療養費審査委員 医学博士 佐野 徳久 先生
19 時 30 分～	懇 親 会	
< 宿 泊 >	* 翌日（6/21） 7 時 00 分～ 8 時 30 分 朝食	

タイムテーブル 6/21 (日)

No. 2

日付	時間	講演
6/21(日)	8時30分	理学療法分科会 (賛助会員5社) ○「デジタル超音波装置の症例画像」 株式会社エス・エス・ビー仙台営業所所長 郡山 宗浩 ○「短時間で治療出来る 低、高周波治療器」 株式会社カナケン仙台北出張所 播磨 光明 株式会社プレス 中道 啓介 ○「グローブ導子による新しい治療法」 株式会社グローバー 代表取締役 菅井 博 株式会社アルファメディカル 高橋 望 ○「干渉波治療器について」 日本プロジェクト株式会社 高橋 卓 ○「接骨院・薬局・薬店のコラボについて」 株式会社メディカルプランニング 代表取締役 庄司 年一 管理薬剤師 藤井 誠司
	9時30分	
	9時30分	柔整関連講座 ～治癒についての討論～
	10時30分	「運動器疾患における治癒をどう考えるか」
	10時35分	私的研究会発表 ○現代臨床療法研究会 (10:35～10:50) 「股関節変位における骨盤下筋及び姿勢時筋の状態 姿勢性疾患との因果関係について」 ○達磨会 (10:50～11:05) 「橈骨遠位端骨折におけるX線計測からみた予後判断の考察」
	11時05分	
	11時05分	柔整応用講座 宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 中間報告 学会副会長 佐藤 捷
	11時40分	
	11時40分	保険関連講座 「柔整師治療と自動車保険」 日本興亜損害調査株式会社 医療顧問 沼田 益偉 氏
	12時20分	
12時20分	平成21年度 宮城県「柔道整復学」構築学会総会 (宮城学術認定柔道整復師表彰)	
13時00分	閉会式	

宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 ミニ学会



特別講演

「人工股関節 ～開発の歴史と手術の実際～」

東北厚生年金病院 整形外科主任部長

宮城県柔道整復療養費審査委員

医学博士 佐野 徳久 先生



特別講演

「柔整的手指損傷の処置と固定法について」 (固定法の考え方とその方法)

社団法人 日本柔道整復師会 学術参与

北豊島医療専門学校専任教員

柔道整復師 山口 祐司 先生



柔整応用講座

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 中間報告

学会副会長 構築研究委員会 特別顧問

医学博士 佐藤 健 先生



庄子 和良 会員



酒井 賢一 会員

宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 ミニ学会

認定 私的研究会発表



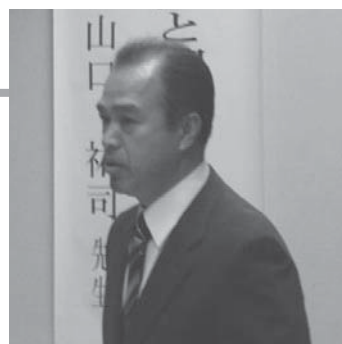
「筋硬度からみた手技療法の一考察」

齋生会 齋藤 拓幸 会員

「B-mode 超音波画像観察と臨床所見」

腓腹筋内側頭挫傷（肉離れ）

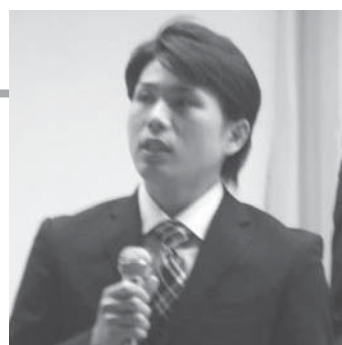
岩佐接骨院勉強会 岩佐 和之 会員



「いわゆる筋損傷の分類

～ハムストリングス肉ばなれの経験から～」

医療法人洞口会 整骨・鍼灸医学研究会 新井田一吏 会員



「股関節変位における骨盤下筋及び姿勢時筋の状態

姿勢性疾患との因果関係について」

現代臨床療法研究会 中川 裕章 準会員



「橈骨遠位端骨折における

X線計測からみた予後判断の考察」

達磨会 若井 晃 会員

宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 ミニ学会



会員研究発表

「スポーツ障害などの栄養問題」

笹沼 政實 会員

藤井 裕文 会員



柔整関連講座

～治癒についての討論～

「運動器疾患における治癒をどう考えるか」

進行 日時 誠 理事



保険関連講座

「柔整師治療と自動車保険」

日本興亜損害調査株式会社 医療顧問

沼田 益偉 様

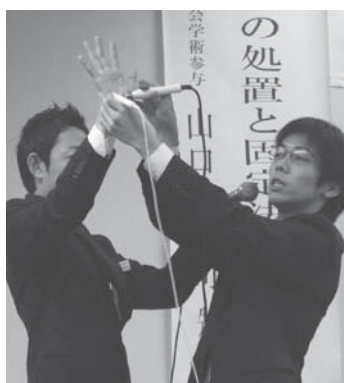
宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 ミニ学会



理学療法分科会

「デジタル超音波装置の症例画像」

株式会社エス・エス・ビー 様



理学療法分科会

「短時間で治療出来る 低、高周波治療器」

株式会社カナケン 様

株式会社ブレス 様



理学療法分科会

「グローブ導子による新しい治療法」

株式会社グローバー 様

株式会社アルファメディカル 様



理学療法分科会

「干渉波治療器について」

日本プロジェクト株式会社 様

宮城県「柔道整復学」構築学会 第1回 三二学会

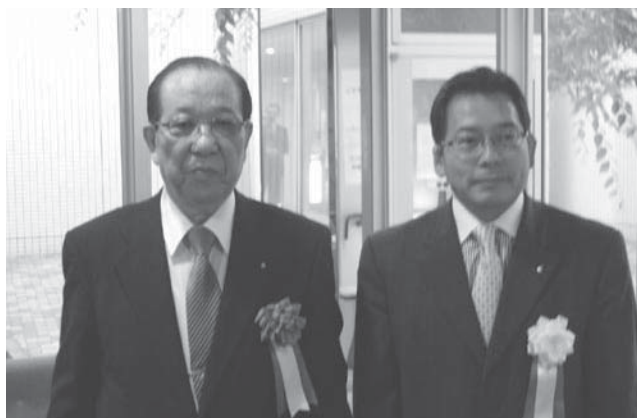
平成21年度 宮城県「柔道整復学」構築学会総会



総会



総会



山口 祐司先生



佐野 徳久先生

懇親会



疾患の重症度の評価に関するフィールドワーク

中間報告（1）

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会

委員長 酒井 賢一

委員 庄子 和良

特別顧問 佐藤 捷

はじめに

医学が成立する条件としては、①診断法が確立していること、②治療法が確立していること、③疫学的または統計的なデータの解析法が確立していることなどが必要である。たとえばアンチエイジング（抗加齢）医学は、現在のところまだ①が不明確で、したがって確立した分野とはいえない状況であろう。柔道整復が「学」になりうるかは上記①②③の構築にかかわるわけである。当研究委員会では、特に①②③に関わる方法論が、これまで分析した結果、不十分であると認識したので、この問題を重点に、その現状から把握することとした。

①につながる疾患の重症度の「評価」は②と③に関連するし、日常の臨床に直結することであるので、当面取り上げることとした。もともと疾患に関わる評価法の役割は、高橋（2005）¹⁾が述べているとおり、「(1)疾患の診断、(2)重症度の判定、(3)治療法の選択*改善、(4)治療効果

や予後の判定に加え、(5)患者側の評価、特に腰痛関係の評価法が重要である。」。

今回は腰痛、背部痛、肩（頸）部痛、頸痛などで整（接）骨院に来院する患者の様子を、動作*部位（範囲）と疼痛の重症度について設定した項目に関して、長期に渡り観察してきた経験をもとに判断してもらい、治療の責任者がどうとらえているかを把握することにした。上記の疾患*症状の判断について全般的に実情をつかみ、三診（視診、問診、触診）の科学的基礎資料を提供しようとするものである。

第1次調査の方法

#対象

宮城県柔道整復師会会員全員（355名）に、質問紙法により郵送で回答を求めた。

#調査技法

デルファイ法（Delphi法）——技術予測調査——は、多数の人に同一のアンケート調査を繰り返すことに

よって、回答者の見解を集約させる方法であるが、前回の調査結果を回答者にフィードバックし、各人が質問課題を再評価する、というところが通常のアンケートと異なるところである。当委員会で計画、方針、分析方法などを検討したうえで、下記の項目について調査を実施した。

個人情報保護法の関係と当デルファイ法の仕方から、回答はすべて無記名とした。

#調査項目（第1回目）

〈症状*部位*条件〉

A腰痛…（ただし、ギックリ腰、筋膜性腰痛、腰痛症など、筋を主体とする症例のみについて。除くもの——坐骨神経痛など神経根や脊椎圧迫症状、脊髄神経圧迫症状を伴う症例、他病歴により発症していると思われるもの、および過去2ヶ月以内に同じ部位を繰り返し受傷した症例、受傷日から初診日まで10日以上経過した症例）

B背部痛…（ただし、肩甲骨周囲

を中心として胸部背面の筋を主体とする症例のみについて。除くもの——亀背、突背、円背（脊柱後彎症）、側彎、肋間神経痛、ヘルペスなど他病歴により発症していると思われる症例、および以下Aと同じ）

C肩（頸）部痛…（ただし、頸部痛（肩こり様症状）など、肩甲骨上部の筋を主体とする症例のみについて。除くもの——肩関節周囲炎、四十肩五十肩などや、胸郭出口症候群、頸椎症、関節リウマチなど他病歴により発症していると思われる症例、および以下Aと同じ）

D頸部痛…（ただし、頸椎部を中心として痛い症例（寝違えや肩こり様症状）など首（頸部）の筋を主体とする症例のみについて。除くもの——斜頸、ダウン症候群、関節リウマチ、後縦靭帯骨化症など他病歴により発症していると思われる症例、および以下Aと同じ）

〈動作項目〉

A腰痛…立ち上がり動作、歩行、姿勢、体位変換、コルセット、

運動方向

B背部痛…運動痛、痛みの広さ

C肩（頸）部痛…肩の運動痛、痛みの広さ

D頸部痛…運動痛

これらについて、それぞれ、軽度、中等度、重度と思われる4段階の尺度——説明文——を設定した。

#調査期間（第1回目）

2008年3月1日から31日の間に新患で来院した患者について記述してもらった。4月7日回答期限。回収率9・6%（37/355名）、有効回答率83・8%（31名）。

#調査項目（第2回目）

〈概要〉

今回の重症度判断のねらいは初診時の評価方法についての実情を知ることにあつたが、説明不足もあり、誤解して回答した会員が6名あつた。1回目の結果も含め、曖昧な部分についても、自由に意見を記述してもらいつつ、判断を集約しようとした。

〈動作項目〉

- A 腰痛・立ち上がり動作、歩行、体位変換、コルセット、運動方向
- B 背部痛・運動痛、痛みの広さ
- C 肩（頸）部痛・痛みの広さ
- D 頸部痛・運動痛

これらは第1回に得られた、判断の分かれた項目であるが、それらについて、判断理由、要素、着目部分などを念頭において記入回答をしてもらった。

第1次調査の結果

#第1回目

31名の回答、すなわち重症度の判断の主な結果は表1-1のとおりである。たとえば、A腰痛・立ち上がり動作について、「軽度」というのは「普通に立ち上がる」という程度だと判断した回答者が24名（77.4%）いたことを示し、「重度」は「ゆっくり時間をかけても立ち上がれない」程度だと25名（80.6%）が判断したということになる。以下、同様に読む。

表1-1 疾患の重症度の判断（第1回目）

A 腰痛

回答数

@立ち上がり動作（椅子から立ち上がる）

1 普通に立ち上がる	軽度(1)	24	77.4%
2 いすに手をつける、または何かにつかまり支えにして立ち上がる	中等度(2)	20	64.5%
3 支えにして、ゆっくり時間をかけ、立ち上がる	重度(4)	25	80.6%
4 ゆっくり時間をかけても、立ち上がれない（体をかがめて立つ）			

@歩行

1 普通に歩行する	軽度(1)	19	61.3%
2 立ち上がってしまえば普通に歩行する	中等度		
3 何かにつかまりながら歩行する	重度(4)	26	83.9%
4 体を歪めたり、屈めたりしながら、つかまり歩く			

@姿勢

1 だいたい真っすぐに立っている	軽度(1)	25	80.6%
2 やや歪み、またはかがめるようにしているが、直立している	中等度(2)	22	71.0%
3 歪み、かがみが大きい、立っている	(3)	19	61.3%
4 何かにつかまりながら立っている	重度(4)	26	83.9%

@ベッドに横になる、または体位を変える

1 速やかに動くことができる	軽度(1)	22	71.0%
2 ゆっくりとだが、伏臥位（腹臥位）、仰臥位（背臥位）になれる	中等度		
3 時間をかけ、少しずつ動いて、伏臥、仰臥しうる	重度(4)	27	87.1%
4 介助しないと動けない、または一度横になると、動くことが困難である			

@コルセット（ハードタイプまたはソフトタイプ）

1 コルセット無しで速やかに動ける	軽度(1)	19	61.3%
2 コルセットを装着すると、支障なく動ける	中等度(3)	23	74.2%
3 装着してゆっくり動くことができる	重度(4)	28	90.3%
4 装着してつかまりながら、ゆっくり動く			

@運動方向(動き)

- | | | | |
|----------------------------------|--------|----|-------|
| 1 前屈、背屈、左右側屈、回旋(捻転)ができる | 軽度(1) | 21 | 67.7% |
| 2 前後、左右に動け、痛みはひどいが、元の姿勢に戻ることができる | 中等度(2) | 19 | 61.3% |
| 3 前屈はできるが、その他はやりにくい、または元の姿勢に戻れない | 重度(4) | 28 | 90.3% |
| 4 動くことが困難である | | | |

B 背部痛

@肩甲骨内側および周囲を含む運動痛、頸部、上肢も付随して

- | | | | |
|--|--------|----|-------|
| 1 動きに伴い痛みがあるが、作業することができる | 軽度(1) | 26 | 83.9% |
| 2 痛むのでゆっくりとした動きだが、動かすことができる | 中等度(2) | 17 | 54.8% |
| 3 痛みにより動かすことが困難である | 重度(4) | 24 | 77.4% |
| 4 痛みが激しく、疼痛緩和(逃避)姿勢をとる
(上肢外転、伸展(後屈)、両肩伸展、肩甲骨を寄せる) | | | |

@痛みの広さ(ペインマップ)による程度

- | | | | |
|------------------------------------|-------|----|-------|
| 1 肩甲骨内側の狭い範囲の痛み | 軽度(1) | 24 | 77.4% |
| 2 肩甲骨内側およびその周囲の痛みを含む | 中等度 | | |
| 3 2を中心として頸部なども痛い | 重度(4) | 25 | 80.6% |
| 4 背部を中心として、頸部、腰部、側胸部など、広範囲に痛みが放散する | | | |

C 肩(頸)部痛

@肩の運動痛

- | | | | |
|-------------------|--------|----|-------|
| 1 痛い動かすことができる | 軽度(1) | 28 | 90.3% |
| 2 痛みにより動かせない方向がある | 中等度(2) | 23 | 74.2% |
| 3 痛みによりほとんど動かせない | 重度(3) | 24 | 77.4% |
| 4 痛みとともに頭痛、吐き気がある | (4) | 24 | 77.4% |

@痛みの場所(広さ)による程度

- | | | | |
|-----------------------------------|--------|----|-------|
| 1 頸部から僧帽筋上部の、狭い範囲の痛み | 軽度(1) | 26 | 83.9% |
| 2 肩頸から、上肢、または背部(肩甲骨・内側または周囲・)まで痛い | 中等度(2) | 24 | 77.4% |
| 3 肩、頸、背部の痛みに加えて、上腕の動きなどでも痛い | 重度(4) | 25 | 80.6% |
| 4 肩頸、背部、後頭部、上腕など、広範囲の放散痛がある | | | |

D 頸部痛

@運動痛(前屈、後屈、側屈、回旋)

- | | | | |
|---|--------|----|-------|
| 1 基本的立位肢位(まっすぐ前を向いている)から、痛みはあるが動かすことができる(ふり向ける) | 軽度(1) | 26 | 83.9% |
| 2 上半身の動きを伴って(加えて)、ふりむく、または前屈することができる(30度以上、60度程度まで) | 中等度(3) | 24 | 77.4% |
| 3 少し(30度程度)ふりむくことができる、少し前屈することができる | 重度(4) | 29 | 93.5% |
| 4 痛みにより、ほとんど動かせず、上半身の動きとなる | | | |

より重度と判断した内容の要点としては、腰痛については、立ち上がれないか、つかまり立ちするか、および、介助するかコルセットをしないと歩行困難な程度を8割以上の方が重度と判断した。また、8割が背部痛*肩（頸）部痛については、身体後面の広範な痛みがある場合を重度と判断していた。痛みにより頸部を動かさない程度の場合では9割以上が重度と回答した。

しかし、詳細にみると、表1-2のごとく、重症度の判断の分かれた項目（3名以内の差）が、全44項目中12項目みられた。特に腰痛については、3項目中2項目で中等度か重度かに分かれ、立ち上がって歩く動作についてが主なものであった。肩（頸）部痛、背部痛についても中か重かに分かれ、主に痛みの広さと運動痛に関してであった。

表1-2. 第1次調査第1回目の回答で重症度の判断が分かれた項目

項 目	判断した人数		
	軽度	中等度	重度
A 腰痛			
3. 支えにして、ゆっくり時間をかけて立ち上がる		16	15
2. 立ち上がれば普通に歩行する	15	12	
3. 何かにつかまりながら歩行		19	12
2. ゆっくりとだが腹臥位、背臥位になれる	12	18	
3. 時間をかけ、少しずつ腹臥、背臥しうる		16	12
2. コルセットを装着すると支障なく動ける	17	12	
3. 前屈はできるが、その他はやりにくい、または元に戻れない		15	13
B 背部痛			
3. 痛みにより動かすことが困難		13	12
2. 肩甲骨内側およびその周囲の痛みも含む	13	15	
3. 2を中心として頸部なども痛い		18	12
C 肩（頸）部痛			
3. 肩、頸、背部の痛みに加えて上腕の運動痛も		12	14
D 頸部痛			
2. 上半身の動きを加えて振り向く、または前屈可	10	15	

* 意見を自由記述してもらった各欄には一つも記載がなかった。
 （たとえば日本肩関節学会の判定基準使用、クラウドウェーバーテスト使用など）。

#第2回目

デルファイ法に従い、第1回目の集計結果を38名(31名プラス無効回答者など7名)へフィードバックしつつ質問した。その結果は表2-1のようにであった。

A腰痛。①椅子からの立ち上がり動作時に、「支えがあり、ゆっくり時間をかけて立ち上がる」を、中等度と判断した方が51・6%、重度と

判断した方が48・4%と半々であった。どちらにしろ、判断時の着目点は、自動運動(行動)ができるという点だとみた場合が15名と多く、さらに痛みの度合いからだという場合が6名あった。②歩行に関して。「立てれば普通に歩行する」を、軽度とみた方が68・4%、中等度と見た方が38・7%、一方、「何かにつかまりながら歩行する」は61・3%が中等

度38・7%が重度と判断した。自動運動ができるか否かをポイントとみる(10名)ことと、次につかまり立ちが可能かを注目した(7名)としている。③体位交換について。「ゆっくりと腹臥位*背臥位になれる」を中等度とした方が58・1%、「時間をかけ、少しずつ動いてできる」を中等度とした方が51・6%と拮抗したが、これは両方の質問がほぼ同じ

表2-1. 判断要素、観点(第2回目)

*文章による回答なので、複数の内容にわたっている。

項目	件数
A. 腰	
(1) 立ち 自動運動可のもの(行動できる)	15
痛みの度合いから	6
疼痛緩和(逃避)姿勢	4
時間がかかる点	3
その他	
(2) 歩行(2, 3をまとめて)	
自動運動が出来るか否か	10
支え*つかまり立ち	7
姿勢(腰がのびているか)	6
立ち上げられるか否か	5
その他	
(3) 体位(2, 3をまとめて)	
介助が必要か自動運動可か	10
速さや時間が問題	9
代償運動としての逃避姿勢がみられるか	3
その他	
(4) 装具	10
有無が要点	6
装着時の運動痛の程度	
その他	
(5) 方向	12
動くことができるか否か	4
前屈はよし、その他の方向が問題	
その他	
B. 背	
(6) 肩甲骨	9
動かせるか否か	5
自発痛、運動制限などで日常生活に支障	
その他	
(7) 痛マップ(2, 3をまとめて)	
程度4のとおり	8
肩甲骨周囲の痛み	7
放散痛、限局性圧痛、運動痛	6
その他	
C. 頸肩	
(8) 痛*広	6
程度3のとおり	4
自動運動痛	
その他	
D. 頸	
(9) 運動痛	7
可動域の制限	
振り向くなど上半身が動くが、	6
疼痛緩和姿勢をとる	3
ADLに支障	
その他	

内容であったからと考えられる。観点は要介助か自動運動可か（10名）と、速さ*時間が問題だ（9名）ということである。④運動方向について。体幹前屈（屈曲）は出来たとしてもそれ以外の方向ができてかつ復帰動作が否の場合を、中位とみるか（48・4%）、重く見るか（41・9%）は見解の分かれたところである。

B 背部痛、C 肩（頸）部痛、D 頸部痛。記述を省くが、表2-1のとおりであり、いずれも疼痛範囲と可動性（制限）を問題にしているが、それらの重症度の判断は32%〜58%の間で分かれた。

以上からは、三診と徒手検査による重症度の判断が、とくに中等度*重症の主観的評価において、客観化に難しさがあることを示唆しよう。

第2次調査の方法

#趣旨…第1次の調査において、重症度の判定が難しくかつ曖昧な部分について、当委員会

で検討した結果、さらに尺度を詳しくして再調査の必要ありとの結論になったので、これを第2次の調査とすることとなった。

#対象（第1回目）…当社団会員計365名。

#技法…今回もデルファイ法に従って計2回の調査を行うこととした。各施設の責任者に回答をお願いした。

#項目…A腰痛、B背部痛、C肩（頸）部痛、D頸部痛のすべてについて、一度に回答を求めることは、心理的、量的、時間的に無理と判断したので、今回の第1回調査はA腰痛、についてのみとした。それでもADL独立度の要素を入れたため、回答欄は106箇所と膨大なものとなった。

立ち上がり動作 9段階、
立ち上がり時間 10段階、
歩行 21段階、
体位変換（時間） 13段階、

体位変換（運動） 9段階、

コルセット 23段階、

運動方向 21段階、

#期間（第1回目）…2009年3月10日を回答期限として、第1次第1回目の調査と同様に実施した。

第2次調査の結果

これについては、目下集計中であるので、（第2回目）も含めて次の機会に報告することとしたい。

考察

1. 整（接）骨の臨床家が日常接している運動器系の疼痛であるが、種々の要因と側面を持っていることは周知のとおりである。いうまでもなく、「疼痛とは組織侵襲的な強い刺激が受容器に加えられたときに生じる感覚²⁾」、(1)機械的刺激のほか、(2)化学的刺激、(3)痛覚伝導路における誘発性のも、(4)視床痛*幻肢痛、(5)心因性のもものなど多様である。

腰痛（症）のような臨床的疼痛はしばしば慢性化し、かつ、程度が変動しやすく、重症度の評価も主観的とならざるをえない。疼痛の主観的評価は言語表現に頼る必要があるが、その偏りを避けるため、しばしば数表現（numerical scale）、visual analogue scale（VAS）、表情スケール（face scale）などが用いられる。日本整形外科学会では、腰痛に関して新しい評価法（新JOAスコア）を検討してきた。¹⁾ その特徴は患者のADLと心理的要素を取り入れたdisability levelのスコアであることである。客観的評価の方法は、

屈曲反射、筋電位、誘発電位、薬物投与効果など実験的に把握されるが、臨床家向きではない。

渡辺（2004）は³⁾項背部の痛みと腕手指のしびれ*痛みが愁訴の場合には、頰肩腕障害と頰椎症の鑑別診断が必要であるとし、その重症度の評価のためには他覚的所見——感覚障害、叩打痛、圧

痛点、握力*背筋力——の把握を総合的に行うことが必要と述べた。とくに叩打痛検査の結果と握力*背筋力の低下は重要な指標とした。佐藤（2000）はペインマップの有用性を提唱した。⁴⁾

2. 今回の取り組みとその結果

われわれは今回、道具（器具）を使わず、三診により重症度を判断する方法についての、県内臨床家の実態を把握しようと試みたが、腰*背部痛、肩*頸部痛について各人が持っている主観的重症度尺度が、かなり〈広がり〉のあるものだということがわかった。筋を主体とする、受傷から10日以内の初診患者に限ることとし、整形外科的、（神経）内科的、リハビリテーション科的診断名のつくものや、反復受傷例を除いたわけだが、痛みに伴う行動制限——時間的空間的制限——をどう捕らえるかが、〈広がり〉の内容であるといえる。

本調査は、一地方である宮城県

内に開業する柔道整復師の各責任者を対象に、無記名自記式質問紙によって、疾患の重症度の臨床的判断を求めたものである。回収率の低さも加わり、この結果が日本の現状を表したものは必ずしもいえない。しかし、長年経験則で行われてきた部分について、初めてその実情の一端を示した貴重なデータであることには違ひなからう。⁵⁾ 今後、柔道整復業の専門性の部分についての合意形成への進路になればと考える。

おわりに

伝統医療の実践家である柔道整復師を対象として、運動器疾患の診断法の客観化を考えるべく、宮城県「柔道整復学」構築研究会で一連の実態調査を行ってきた。判断（評価）、治療期間、治療効果検証、急性慢性問題など、検討すべき多くのテーマがある中、今回のシリーズでは疾患の重症度に関わる主観的評価の問題を取り上げた。デルファイ

法による調査の結果では、疼痛と動作との関連に関する判断にバラツキがあることがわかったが、ADLがらみの判断について、さらに見解の集約が可能かを検討する必要がある。

文献

- 1) 高橋和久…腰椎椎間板障害——基礎と臨床——。第78回日本整形外科学会学術総会、MAYセミナー、2005.
- 2) 千野直一編…現代リハビリテーション医学、改訂第2版、金原出版、2004.
- 3) 渡辺靖之…肩こり*頸肩腕障害、治療、86(3)、2004.
- 4) 佐藤 捷…女子体育大学生における腹臥位体幹*股関節筋力発揮——腰痛との関連で——、スポーツ整復療法学研究、2(1)、2000.
- 5) 佐藤 捷…第3回宮城県「柔道整復学」構築学会を終えて、宮整広報、No.83、2008.

謝辞

多忙な日常業務の中、めんどろな質問に回答をくださった、宮城県柔道整復師会会員の方々に御礼を申し上げます。また、委員会の活動を全面的にバックアップしていただいた上泉会長、中川副会長、松元理事、並びに、実務を良くこなしてくださった事務局職員の方々に厚く御礼申し上げます。

(本中間報告の前半は、2008年6月、第3回宮城県「柔道整復学」構築学会にて、庄子(前)委員長がその要旨を口頭報告した。今回、それに佐藤が更に追加しまとめた。)

(文責…佐藤 捷)

文部科学大臣杯争奪

第18回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会 平成21年度 宮城県少年柔道大会

優勝 小学団体の部 七ヶ浜柔道スポーツ少年団A
中学団体の部 仙台柔友会A
138チーム 約1000人が熱戦展開



平成二十一年四月二十六日
(日)、大会主催の柔道大会（後援／宮城県教育委員会・宮城県体育協会・宮城県柔道連盟・女川町・女川町教育委員会・女川町体育協会・宮城県柔道少年団・宮城県柔道スポーツ少年団協議会・石巻柔道協会・石巻地区スポーツ少年団連絡協議会・石巻地区柔道少年



団・石巻地区柔道スポーツ少年団協議会・女川町柔道錬成会・仙台接骨医療専門学校・赤門鍼灸柔整専門学校・河北新報社・NHK仙台放送局・東北放送・仙台放送・ミヤギテレビ・東日本放送・三陸河北新報社・石巻日日新聞社）が女川町総合体育館にて開催されました。

大会には県内四十五団体から小学団体の部（五人制）に五十七チーム、中学の部（三人制）に八十一チーム、約一〇〇〇人が参加されました。

赤間瑞輝君（七ヶ浜柔道スポーツ少年団A）が選手宣誓し、競技がスタート。各チーム優勝を目指し、保護者の声援を受けながら大人顔負けの白熱した試合が展開され大盛況のうちに滞りなく幕を閉じました。

見事に連覇を果たした小学団体優勝の七ヶ浜柔道スポーツ少年団Aチームは十月十二日に講道館で開催される日整全国大会に県代表として出場。

日頃の稽古の成果を十分出し、力いっぱい頑張って頂きたいと思います。

（文責 編集部）

大会結果

小学団体の部

優勝 七ヶ浜柔道

スポーツ少年団A

準優勝 岩出山少年柔道A

第三位 木村柔道館A

〃 根岸柔道塾A

中学団体の部

優勝 仙台柔友会A

準優勝 木村柔道館A

第三位 渡波柔道

〃 スポーツ少年団A

〃 渡辺道場A



七ヶ浜柔道スポーツ少年団A



仙台柔友会A

宮城県スポーツ指導者並びに本会合同 「スポーツ外傷に於ける応急処置、救急救命手当講習会」報告

去る四月十二日(日)午後一時より、宮城県武道館柔道場において、スポーツ指導者のための「スポーツ外傷に於ける応急処置、救急救命手当講習会」が、当会と宮城県柔道連盟との共同で開催されました。第四回を迎えた今年の講習会は、会員、準会員二十名の他、柔道関係者を含め、多種のスポーツ指導者一〇二名もの方々にご参加頂き、これまで最大規模の講習会となりました。

本年も講師に当会会員で日本赤十字社宮城県支部救

急法指導員の庄子和良先生、並びに同じく救急法指導員の平茂夫氏、菊地信子氏の三名の講師により、一、スポーツ現場における救急救命法、自動体外式除細動機(AED)について
二、外傷性応急処置法について
三、傷害予防と対策について
ご講演と実技指導が行われました。参加者はリラックスしながらも、事故時を想定し、真剣な面持ちで実技の習得に励んでおりました。

今後もより公益性の高い事業を目指し、多くの多種スポーツ指導者の参加促進を図ると共に県内のスポーツ事故防止に努めて参りたいと存じます。

(文責 大坂武史)



SVM 活動報告

仙台青葉まつり救護活動

平成21年5月16日～17日

仙台青葉祭りでの出来事

太白区地域代表 渡 邊 一 治

新緑茂れるこの季節になると、どこからともなくお囃子の笛や太鼓の音が聞こえてきます。それを追いかけるように「ソレ、ソレ、ソレソレソレソレ」の掛け声と一緒に活気に満ちた色とりどりの雀連の群れが新緑を縫うようにそれぞれに相異した見事な舞を踊り跳ねる姿は、もう仙台の風物詩になっているのでしよう。

さて、私達は今回三回目の参加になりましたが、齊藤先生のお骨折りや、総会との兼ね合いもあり準会員の先生方の絶大なる協力、そしてメーカーさんの協力と、会員の先生方の参加もさることながら短い期間での準備、皆様方の協力なくしては成されないものと強く痛感いたしました。準備も早々に手際よく進み当日を迎え、それぞれのブース責任者さんへの挨拶と打ち合わせを済ませ会場内をセッティングし待機することになりましたが、来所される方は少なく、とは言っても本来はそれに超したことはないのですが…。私達

とすれば、せつかくの機会、私達の仕事（業務の内容）を見て頂きたい、知ってもらいたいと云う気持ちも強くあり、来所された方やブースの方々と話をしてみますと、「看板に「救護」と書いてあるからではないか」と、云う事でした。つまり、今怪我をした、具合が悪くなった、と云う世間の良識は健在であったという事でした。私的には安著感と同時に一抹の喪失感を感じました。かと言って、ここで「亜急性の損傷」を講義するでもないのですが簡単に説明し、後半に備えていると、腓腹筋部の緊張、腰背部の緊張、アキレス腱部の炎症と次々と来所される方が増えたことは、私達にとっても役割を少し果たせたのでは、という充実感をもたらしてくれました。改善すべき所、気付かない私達の目線、勉強したように思いました。参加された先生方、ご苦勞様でした。ありがとうございました。

来年は、あなたも参加してみませんか。

平成20年度後期事業活動報告

平成20年12月～平成21年3月

平成20年12月10日 開催

J A 共済連 宮城連絡会議 報告

今回で三回目を迎えるJ A共済連宮城県本部との連絡会議が十二月十日に行なわれました。出席者はJ A共済連側から、自動車損害調査部長、同課長、同課長代理、そして、仙台および古川のS C（サービスセンター）長の五名。当会からは、前上泉会長、中川副会長、前豊嶋副会長、櫻田保険担当、佐藤勝一渉外担当が出席しました。双方の代表者の挨拶に続き、J A側から情勢報告があり、平成十九年度における宮城県

内の自動車保険新契約数で東京海上日動火災に続き二位、自賠責新契約数で五位の実績であること、対人賠償、人身傷害、自賠責共済の支払状況、自動車事故にかかわる自動車損害調査部門の組織概要と事業拠点およびその展開などが報告。当会からは、当会が行なっている研修活動状況や、会員から寄せられた交通事故による患者の施術や自賠責保険の取扱いに関する問い合わせの事例などを報告。協議の結果、平成二十年度内に自動車損害調査部の事故処理担当者研修会を当会担当者を交えて開催することで会議を終了したことを報告します。

※交通事故による損害賠償補償制度では、強制加入の自動車損害賠償

責任保険（共済）いわゆる自賠責と、任意加入の自動車保険（共済）いわゆる任意保険によって補償されます。一般的には任意保険の自動車保険会社（共済）が補償の窓口となり、自賠責保険の部分も含めて補償する「一括取扱い（一括払い）」制度があります。

※最近では任意加入の自動車保険（共済）に人身傷害補償保険が加わり、被保険者の過失割合に関係無く、補償額の範囲内で治療費や休業損害などが全額補償される「人傷払い」が多くなっています。この保険は過失が発生した場合の過失相殺分を補填してくれるため、契約者にとってメリットの大きいものとなっており、加入率は七十%ともいわれています。自動

車事故で双方に過失がある場合、過失割合の確定を待たずに適用できるため、損害保険、共済各社とも人身傷害補償保険を適用させることが多い状況です。

(文責 櫻田 裕)

平成21年1月11日 開催

平成21年新年会報告

平成二十一年一月十一日(日曜日)十二時より、江陽グラウンドホテル鳳凰の間に於いて、社団法人宮城県柔道整復師会新年会が盛大に開催されました。

開会に先立ち、ボーカルJOHN LUCAS BARRERETさん、ピアノ真壁洋行さんによる祝奏が披露され、会場全体が新年にふさわしい清々しい空気に包まれました。

杉浦永子さんの司会で、豊嶋良一前副会長による開会のことばがあり、上泉昌隆前会長より御来賓並び

に会員と会員奥様各位に新年のご挨拶と共に、当会業務運営に多大なるご高配を賜っていることへの感謝の意、本年にかける抱負などが年頭の挨拶として申し述べられました。

引き続きご来賓の方々が紹介され、宮城県医師会会長 伊東潤造様よりご祝辞を賜りました。

ここで、毎年恒例の福祉募金贈呈が執り行われ、宮城県障害者スポーツ協会、仙台市障害者スポーツ協会、スペシャルオリンピックス日本・宮

城各位に贈呈されました。

*福祉募金

毎年一度、当会会員全員の各接骨院・整骨院の受付窓口を設置している「福祉募金箱」の収益を取りまとめ、慶賀の席上にて福祉募金として各団体に贈呈させていただいている。

引き続き、仙台市医師会会長山田明之様による乾杯のご発生と共にシャンパングラスが高々と掲げられ、乾杯!!の声が響き渡る中、祝宴へと入りました。

当会の公益活動風景をスライド上映させていただきながら、祝宴もたけなわのところ、宮城県医師国民健康保険組合理事 丹野憲二様による万歳三唱のご発生を会場全員で声高らかに復唱しました。

親睦も深まり、心通う談笑のひとつときに名残はつきませんでした。中川利光副会長による閉会の辞によって、滞りなく散会となりました。

(文責 編集部)



平成21年1月24～25日 開催

機能訓練指導員認定 柔道整復師講習会

介護保険改正法にともない、地域支援事業・新介護予防給付が創設され、柔道整復師は介護の予防や進行を止めるために機能訓練指導員としての参入が認められました。介護保険や地域支援事業において「柔道整復師のおこなう機能訓練指導」が、国民に受けいれられるためには、介護予防についての十分な知識が要求されることは当然のこととなります。また、我々が日々治療をおこなっている高齢者の患者様の多くが、地域支援事業や新介護予防給付の対象者となる可能性があり、柔道整復師にとって介護予防の分野に手を伸ばしていかねばならないこともご理解いただけたと思います。日整介護対策班では、「柔道整復師のおこ

なう機能訓練指導」の研究成果を通して、介護予防の知識習得と、今後「柔道整復師のおこなう機能訓練指導」が行政にマンパワーとしてアピールする必要性も踏まえて、「機能訓練指導員認定柔道整復師講習会」を開催いたしております。（日整資料より引用）

平成二十一年一月二十四日(土)・



二十五日(日)、上記講習会が仙台市青葉区の赤門鍼灸柔整専門学校・国分町校舎を会場に開催され、九十四名が出席し九時間三十分におよぶ講義を熱心に受講しました。

【講習内容】

筑波大学名誉教授

芳賀 脩光先生

○二十一世紀における高齢者福祉の課題

○加齢に伴う身体のリスクマネージメント

○運動指導の実際

○高齢者の身体能力テスト

(社)日本柔道整復師会保険部

介護対策班 三谷 誉先生

○介護予防と柔道整復師

○ICFの概念と個別機能訓練

○個別機能訓練評価票記入方法

○失禁・認知症予防について

○柔道整復師の介護予防手法

(文責 櫻田 裕)

平成21年3月15日 開催

平成20年度 第2回通常総会

平成二十一年三月十五日(日)、フォレスト仙台において、定刻どおり松元浩二理事の司会で、豊嶋良一前副会長の開会の辞によって通常総会が開催されました。

はじめに上泉昌隆前会長より会員皆様への挨拶があり、次いで中川利光副会長より報告事項として、東北ブロック会に対する方向性についての報告がありました。

その後、議長・木村清徳会員、副議長・小野木馨会員、議事録署名人・三浦吉幸会員、田中俊一会員が選出され議事に入りました。

第一号議案から第三号議案までの議案すべてが承認され、最後に、中川利光副会長による閉会の辞で、滞りなく通常総会が閉会しました。

(文責 編集部)



生涯学習認定証・ボランティア優良会員表彰(上)



医療功労賞中央表彰受賞

第37回「医療功労賞」国内部門

受賞 中川 久秀 会員

この度、当会の中川久秀会員が「第三十七回医療功労賞」を受賞されました。これは、約四十年に渡り柔道整復業を通して、かつて同業だった父親とともに離島に手漕ぎボートで渡ったり、山間部の雪道で立ち往生しながら往診した経験など、様々な困難を乗り越え地域活動を支え、住民の健康増進に尽力してきた功績が認められたものです。

中川会員は、全都道府県の「医療功労賞地方表彰受賞者」八十三名の一人に選ばれた後、さらに「医療功



労賞中央表彰受賞者」として、国内部門十六名の中の一人に選出されました。受賞者中医師十名、歯科医師一名、看護師一名、准看護師一名、看護助手一名、助産師一名といったそうそうたる顔ぶれの中で、ただ一人柔道整復師の受賞という柔道整復業界全体にとりましても大変名誉な受賞となりました。

中央表彰式は去る三月十六日(月)、帝国ホテルにおいて執り行われ、大変栄誉ある受賞をされた中川会員は天皇陛下に拝謁されました。



「医療功労賞」受賞に感謝して

社団法人 宮城県柔道整復師会々員

中川久秀

私こと、第三十七回「医療功労賞」(読売新聞主催・厚生労働省後援・エーザイ協賛)の地方表彰を経まして、中央表彰の受賞の栄誉を賜りましたこと、身に余る光栄と衷心より御礼を申しあげます。これも偏に前会長初め皆様のご推挙ならびにお力添えの賜物と感謝と御礼を申しあげます。

省みれば、東京上野の金井整形、埼玉県桶川の接骨院にて、インターンをし、あの頃確か月三千円弱のお手当ての頃、約一年分の財布をたたいて、私にとっては大変高価な中古車を三万円ほどでやっと手に入れまして、それをお土産に郷里、気仙沼に帰ってきてから今年で丁度四十年となりました。過ぎてみると早いも

ので、よく此処まで来たものだと、そのときその頃を色々と思い出されます。

気仙沼に帰郷して、まず取り掛かったのが、「ほねつき院」を改め、「気仙沼中川接骨院」と、新たな看板を掲げた事でした。その時代と言えば柔道整復師も按摩師も「もみっさん」と呼ばれていたと言うことに強い憂いを感じまして、先ず怪我は「接骨院」ですと、ここから患者さんに理解していただけるように、地域の皆さんの意識改革に「先ずは看板から」と、私なりに色々努力したものでした。

怪我を治す柔道整復師なら、どのような怪我でも治せるようにと、学問と技術向上をモットーに頑張りぬ

いてきました。その努力のかいと父が築き上げてくれた土台もあって、私が帰郷した昭和後半年代頃から、骨折・脱臼などの、多くの貴重な怪我の治療経験をさせて頂いた時代でもありました。

また、今のように交通網が整備されていなかった頃、とても往診の多い時代で、いろいろな諸事情を抱えながら通院容易ならない重症患者さんの治療の為、当院三十二年開業の父の頃からずっと、離島の方や半島の崎の方、または山深い方々の往診に、波風の強いさなか櫓を漕ぎ、又は雪深い山奥へ、そして墨を落とし、たかのような真つ暗な闇夜には一筋の民家の薄ら明るい灯りを頼りに往診をしてきました。あまりの風波や雪深さのため迷ったり、引き返したり、やっとの思いで着いても帰れず、そのまま一泊などと言うことも珍しくありませんでした。

このような昭和後半年代頃から、平成年代に入ってから他業種の開業等もあつてか、少しずつ流れが変

わり、私達にとって大変なる新時代を迎えている昨今となりました。

現在では、接骨院ボランティア宮城（通称SVM）本業ボランティア活動として、スポーツ現場の医療救護、生徒さん方への応急処置の講和と実技講習、団体等への講話、また趣味を生かしたチャリティーや慰問活動など、今だから出来る事を一生懸命活動させて頂いています。

このように、当たり前のことを当たり前にできる健康に、家族やスタッフに、多くの方がたの支えに恵まれ、そして社会環境の変化に頑張っ立ち向かっている柔整師の仲間の皆さんの姿を力に、仕事を続けてこられたことがこの度の受賞に繋がったものと感謝致しております。また、この栄えある賞は亡き父と共に受賞したものと心得ておるところです。

さらに、この度の受賞が一人の賞として止まることなく、業界にとって何らかの良き方向への、一つの点となって頂けたならば幸甚とするところです。

今、三代目が何とか後ろから就いてきてくれる様ですが、私は体力の続く限り地域医療に微力ではありませんが貢献させていただきたいと考えております。今後とも皆様のご指導を賜りますよう宜しくお願いいたします。

平成二十一年三月六日 読売新聞掲載 右下 左

医療功労賞全国表彰 中川さん



離島や山間部への往診などに40年間奔走した中川さん

「仕事一筋、これからも」

長年にわたり地域医療に貢献した人を顕彰する「第37回医療功労賞」（読売新聞社主催、厚生労働省など後援、エーザイ協賛）の中央表彰者に、県内から柔道

整復師の中川久秀さん（64）が選ばれた。中央表彰式は16日、東京の帝国ホテルで行われる。中川さんは、1969年から40年間、離島や山間部への往診などを通じ、地域の人たちの健康増進や、ねんざなどの手当てに奔走してきた。往診で訪れた患者から、「わざわざ遠くまで来てくれてありがとう」と、畑で取れた野菜やサンマなどの海の幸をもらい、帰りの車のトランクがいっぱいになることもあった。「柔道

島へ山へ 往診に尽力



中川 久秀 64 柔道整復師

約40年間、ねんざ・打撲の手当てや地域の健康増進に努め、離島や山間部の往診に尽力してきた。かつては、同業だった父とともに離島に手こぎボートをこいで渡ったり、山間部の雪道で立ち往生した経験も。柔道五段で、趣味の三味線を通じ患者とのコミュニケーションをはかる。体力の続く限り往診を続けたいと意欲をみせる。△宮城県気仙沼市▽

宮整温故知新

私と柔道と国士館

日下治夫

私の人生の出発点は上野駅前、旧

下谷西町から……。二歳の時、下谷区金杉一丁目六番地（今の台東区）で、父・傳二郎が「昭武館」と名付けた小さな柔道場と整骨院を開業しました。ヨチヨチ歩きのところから柔道場が遊び場であり、受け身の真似ごとをしておりました。

特別注文の柔道衣を着せられ本格的に柔道を始めたのは四歳でした。講道館に入門したのが小学校の五年生の時、それから中学校を終る六年間の寒稽古は皆勤でした。始発電車の前の午前四時に家を出て、都電通

りを上野に、そして忍の池へ湯島へ本郷へ春日へ水道橋と、素足に下駄ばきでした。今、思い出しても本当によくやったものだ、我れながら感心しています。

昭和十九年四月、国士館専門学校に入学、先輩は勿論のこと、同学年の仲間からも投げられ放し、本当にいやになるほど投げられた。そんな折、同期の池田寛大兄と知り合い、ほとんど眼の見えない彼に聞いたことがあった。「どうして俺が技をかけようとするのが解るのか」と……。その時、彼が教えてくれました。「技をかけようとした時、何よりも先に稽古衣をつかんだ手が動く、その動きで来るなど解るんだよ」と……。これぞ「真眼」と言うのでしょうか。

私の柔道が変わったのは、それ以後でした。何と半年後に見事にそれが証明されたのです。十月に講道館の「紅白試合」に出場するように言われた時は正直言って驚きました。入学以来投げられ放しで、投げたことのない私が試合に出るなんて……。ビンタを覚悟で八ヶ月ぶりに講道館の門を叩いた。

張り出された出場者の名前を見ると、初段の上から八番目に私の名前が記るされている。「これは駄目だ」と緊張感もなく開き直ってしまった。それが良かったのかもしれない。自分でもびつくりするほど簡単に、初段の八名をなぎ倒し、二段の五名にも勝ってしまった。十四人目で「引分け」という結果でした。成績「抜群」ということで、その場で二段を飛び越して参段に昇段しました。それでもビンタのほかに先輩からほめられたという記憶が全くないのです。

昭和二十九年六月に東京で四段、

四十年六月に宮城県で五段、いずれも昇段試合で勝ちとったものです。しかし三十代後半ともなると試合は本当にきつかった。そんな思い出が今はなつかしく思い出されます。五十代、六十代になっても試合に出ている剣道の先生方がうらやましく思う昨今です。

それにしても、わが愛する昭徳会：同期の桜の皆さん！ 年をとるというのは厭ですね。こんな自慢話めいたことしか紹介できずお恥ずかしい次第：、同期の誼みでお許し下さい。折角の人生です。共に一日も長く生抜き “老残” を美しく飾ろうではありませんか――。

宮城県白石市沢目十九
(国漢・柔道科)



現在、八十一歳にして日下整骨院（白石市）を開業されている当会の重鎮、日下治夫会員より大変貴重な書物をお借りすることが出来ました。

その書物は、平成七年十月昭徳会（戦時真つただ中、昭和十九年の春に国士館の門をくぐった同期生の集い）刊行の記念文集で、同期生のお一人である日下治夫会員も「私と柔道と国士館」というタイトルで文集に寄稿されており、拝読させていただきます。同氏が人生の中で柔道

と向き合って来られたご様子がひしひしと伝わって参ります。そして、道場を通じ貢献されて来られたであろう当時の接骨業務のご様子が、浮かび上がって来ます。

あくせく業務に追われる昨今ですが、一息ついて、このような柔道整復師の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。現代において、私達が忘れかけていた何かに出会うことができるかも知れません。

(文責 編集部)

第56回ゴルフ愛好会ゴルフコンペ

平成二十一年六月二十八日(日)に、表蔵王国際ゴルフクラブに於いて、第五十八回ゴルフ愛好会ゴルフコンペが梅雨の中休みのような快晴の中開催され、今回初参加の玉井会員をはじめ十三名の会員とスタッフ、それと事務局から総務主任の佐藤さんが参加され、十四名が楽しく、和氣藹々と親睦を深めました。昨年から引き続きハンディキヤップ制で行われ、初心者とベテランの会員が、皆優勝を狙えるということもあり一打一打に一喜一憂しながら楽しくも真剣な十八ホールになりました。気になる成績は、木村清徳副会長が初優勝を飾り、一位に伊藤マージイさん、二位に大坂武史理事となりました。宮整ゴルフ愛好会コンペは、スコアだけを競

うのではなく、会員同士の親睦を深めることと、また会員がゴルフのマナーとエチケットを学ぶことが目的であります。まだ参加したことの無い会員、ゴルフを始めようとお考えの会員の多数の参加を心待ちしております。



(文責) ゴルフ愛好会

ゴルフと我が人生

宮整、ゴルフ愛好会会長

小野木 馨

私は約三十年前ロータリークラブで奉仕活動に専念していた頃、親睦委員会よりゴルフを勧められたのが始まりで、目的は「奉仕活動をするには健康と会員同士の親睦が大切である」とのモットーで開始しました。ゴルフを始め最初にまず感じたのが「ルール（規則）とマナーの徹底を遵守する」という人生を歩む上で必要不可欠な事と全く相通じるものである事を強く感じたものです。

個人競技のため、自分で打ったボールは最後まで自己責任で処理する。決して他人のせいには出来ない、違反があればペナルティーが与えられる。最初にティーグラウンドから第一打が始まり、打ったボールが必ずしも平坦地

だけではない、前上がり、左下がり、右上がり、前下がり、ラフやバンカーの中に、最悪の場合にはブッシュやデボットへと、ゴルフは本来ノータッチプレーが基本であり、ボールに触れる事はできない。内心、迷い苦しんで、ボールの位置を動かしたい気持ちになる、しかし同伴プレーヤーやキャデイさんは見ない振りして、実際は見ているものである一度のルール違反で、人間性が見られ信頼を失う方が大きい。心の動揺がスイングを狂わし、打ったボールはミスショットが多い、忍耐力と自分との戦いだ、ルール違反は絶対に許されない、過少申告により失格となる。終わってスコアカードを見て反省しきり・・・如何に理論と実践と忍耐力が必要かによつて上達（進歩）が試される。また老若一緒に同じ条件でプレーが出来、汗を流した後、仲間とビールを飲みながら和気藹々の中から親睦が生まれる。これこそが紳士のスポーツである、スコアも大切だが「健康と親睦」も人間形成の重要な第一歩と教えられる・・・

宮城県柔道整復師会も五月から約三百六十余名の会員を乗せ柔整丸が、豊嶋船長中心に大海に出航した、しかも山積している問題を背負つての難航海である。その荒波を見事に乗り越え

る力と指導力を私は期待している。歴代会長の責任の重さが如何に大変だったか、が間もなく身に感じる事でしょう。会長職は誰にも出来るわけでは在りません日整、東北ブロック、各種保険、介護、学術、ボランティア、政治、各官庁、役所、柔道関係にも幅広く精通し、役員、会員の意見を聴く耳を持つて、あらゆる現場に足を運び実態を見て実行力を発揮しなければ責任は果たせません。最近では柔整師の収益を上げる為に、業務範囲を拡大する意味は良く理解できませんが、これも柔道整復師の資格のお蔭です、しかし日本独自の伝統医療を一途に守り続けている会員も大勢います。我々の身分「柔道整復師」を第一に考え、地域住民に「接骨院、整骨院、」骨つぎとしての存在感を忘れられないように、また現在岐路に立っている整復師会の舵取りを豊嶋会長の指導力によりバランスのとれた宮柔道整復師会を私は望みます。

尚、会員も自助努力し自分の職務に誇りと責任をもつて、宮柔整師会のルールに従い柔道整復師としての倫理を最も重点的に真摯な態度と誠意を持つことで、社会全体に信頼関係が生まれ、国民医療の一環として認められるものと私は確信いたします。

…「風見鶏」…

庄子 和良

新執行部体勢が発足し、私達の活動も新たな気持ちで取り組んでいこうと思っています。

「生かす」「生み出す」「生き抜く」新執行部就任挨拶の中で複数の理事が引用した言葉で、豊嶋良一新会長が今後の指針をこの言葉に託して、決意表明したものです。

この言葉を風見鶏流にイメージしてみようと思います。

「生かす」活かす、命をもたせる、生きかえらせる、役立てる、活用するなどの言葉が連想されます。また必要に応じて適切なものを使い分ける、使い熟す、しかし新しい道具を求めるのではなく、今有る物の中で、或は、古い物の中で工夫を凝らす、など限られた条件

を楽しむ。活力を感じる言葉です。またイカスの響きは古い流行語の中に、なかなかよいとか、魅力があるとか、工夫や活用は、なかなかカッコイイと連想させます。

「生み出す」産み出す、作り出す、誕生、創造、といった初めてのもの、新しいものなどのイメージでしょうか。しかし偶然に出会ったものや見つけ出したものというよりは、必要を感じた時の揺るぎ無い信念のもと、熱意とパワーを纏う粘り強さの表現でしょうか。

「生き抜く」生き続ける、延びる、残る、静かなイメージですが、連綿と日々歩む姿でしょうか。また「抜く」やり抜く、追い抜く、抜きこめる、抽んでる、擢んでる、卓越、秀でる、際立つ、など一方では激しい闘志を思わせる言葉です。何れにしても継続は事実を重ね、自信となつて心の力になり、志を作り、実現へ堅固な歩みを進

めます。

会長の意志と気魄が込められた所信表明ではないでしょうか。

* * * * *

先日の日整広報5・Vol.196・May2009の中で、会員からの投稿が掲載されていました。タイトルは「認知度アップのための四つの方法」。内容は柔道整復師の認知度を高める方法として、第一の方法はマスコミの注目を集めること。不正などの悪い意味での注目ではなく、名誉ある注目は大歓迎であるが、なかなか難しいと考えていらっしゃる。私達も十年以上も前、現在の会長や副会長が少し若くて、マスコミの注目を集めることが出来ないかと奔走した時期がありました。この努力と自問自答の繰り返しの中から誕生したのが、私達の技術を生かす「ボランティア」そして

「接骨院ボランティア宮城・SVM」の発足でした。

第二の方法は、「学の構築」が重要且つ地道で価値ある手段だとおっしゃる。一番お薦め戴いている方法と思われるが、その陰しく困難な道程を感じていらっしゃるのか、四行で終わっている。それもそのはず、日整では昨年度は予算無し、今年度は付けたものの、大学に寄附講座開設と決定し、丸投げした。大学の協力は、不可欠であるが、自らの努力は、更に必要なものである。中央「日整や接骨医学会」では、学の構築を重要視しているが、杳として進める気配は無い。「柔道整復学」構築には、様々な人達の協力が必要なことであるが、私達の生み出す努力があつてこそ、力添えを頂戴出来るものであり、自らの経験則を科学的整理体系化することにより、生み出すことが出来る。

第三の方法は、すでに行なつて

いるボランティアや公益事業をあげており、この活動は更に加速していくだろうとおっしゃる。私も同感である。ボランティアを通じて地道に活動を広めていく方法は、とても良い方法であり、意味深いことだと考えている。そして中央においてもその方向性は変わらず「全国に広げたい都道府県活動」などその姿は一目瞭然、大いに評価に値する。また中央だけではなく地方でもボランティア活動は盛んに行なわれ、感謝と敬意を表したいと思う。

第四の方法は稍奇抜であろうか、映画「おくりびと」を例に出し、柔整師を主人公にドラマや映画はどうかとおっしゃる。才能有る人材と環境が揃えば可能性が無いとはいえないが、提案している御本人も自信はなさそうで、苦肉の策であろうか。たとえ作る事が出来たとしても、ブームになるのは、一〜二年の話だろう。私

が言わずとも承知のうへか。

そこで私が考える第四の方法は、現在の流れを生かしたものだ。第三の方法ボランティアをもう一度考えてみたい。これまでの経緯は、皆様も知つての通りである。まず目的は「認知」にあり、実践してみたら必要な準備が求められた。材料をはじめとする「物」、それを使う方法や参加会員など「人」に関するノウハウ、さらに活動を広め進めるためのネットワーク作りと、一応の環境は整ってきたと思う。この様に柔整師会としての認知は一定のレベルに達してきているが、地域における認知、各会員の認知はこれからの課題であろう。勿論これまでどおり、「物、人、ネットワーク」は重要である、しかしそれ以上に個人がクローズアップされることは重要である。その結果、地域での柔整師認知度がアップすることになる。

もう十年以上も前、ボランティアの目的、方法、意義、価値、そしてその対価を考えた。そして視野はグローバルに活動はローカルにと、考え方を進めてきた。今こそ私達の得意とする人的貢献「マンパワー」を地域活動で発揮し、手の温もりを伝えることにより、対価として個人に戻ってくる時である。これこそ「生き抜く」術ではないかと思う。

…「夙見鶏」パートII…

今年の新年会、いま思いたすと、議員の先生方が複数御見えになり、ご挨拶をいただいた記憶があります。

あれから半年、いよいよ選挙となり、国政の先生方はその真意を問われる、正に本番の時だと思えます。そこであの時の御挨拶を考

えてみたいと思います。

たしか当日、お見えになった先生は三人、奥様が一人、その他秘書の方が数人だったでしょうか。最初の先生は、定額給付金の話題で、「お金を貰ったら、皆さんの所にマツサージに行きます」と少し「ヨイショ！」のつもりだったのでしょうか。私達の業界にも都合が有り、「アレツ？」と誤ってしまいました。

次の先生、こんどはタクシー問題。低賃金で生活も大変だと言う。たしかに社会問題としては重要な話であるが、私達の会としては、問題が違いすぎる。タクシー問題と私達が考えるとすれば、賃金ではなく、安い運賃のタクシー労働者は、より効率よく、より早く走ることを追求することになり、それだけ危険も増してくる。そんなタクシーに御世話にならないければならなくなることが問題だと思えます。

三人目は食糧問題。食品の輸入が多くなり、塩釜港から入国する事も、最近増えてきている。しかしその安全性を検査監督する機関が、設備不足で、儘ならないという。ちよつと先生、県内に居てその辺りの事情をいままさら問題にしているかと思うと、これまでは何を、と聞きたくなる思いです。それに輸入食品ですが、県内の食糧自給や国内自給率の方が、より問題として重要ではないかと思えます。

最後に奥様、「私は良くわからないので、新年の御挨拶だけです。」と一番賢明でした。

私達も他の団体やグループなど、ネットワークを組み挨拶や、ボランティアなどで交流が有ると思います。相手の事情や、都合など、内容を事前に知る必要があると思います。

新入会員紹介



12月2日入会
嶋田健一郎



10月23日入会
菅原功志郎



8月6日入会
平間 真輝



2月8日入会
辰巳 哲夫



4月1日入会
佐々木耕一郎



4月1日入会
小笠原史洋



1月27日入会
高橋 悟



1月15日入会
吉岡幸一郎



4月28日入会
佐藤 昭彦



4月27日入会
鴻巣 安男



4月1日入会
柴田 敏



4月1日入会
畠山 昂



6月16日入会
小原 範昭



6月11日入会
佐々木智徳



6月11日入会
岩佐 寛章



5月27日入会
本田 正則

募 集

— 意見・提言・趣味 —

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていないませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。
あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

どんな方法でも結構です、一歩前へ！

SVM活動状況

(平成20年12月1日～平成21年6月30日迄)

依頼団体名	日時	合計
スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/29	1
七郷柔道愛好会	4/29	2
気仙沼柔道協会	5/3	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/10	1
仙台市商工会議所青年部	5/10	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/10	1
仙台青葉まつり	5/16～5/17	19
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/17	1
気仙沼市立浦島小学校	5/17	1
気仙沼市白山小学校	5/17	1
宮城県柔道連盟	5/23	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/24	1
宮城県柔道連盟	5/30	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/31	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/31	1
石巻地区中体連柔道競技	5/31	2
宮城県高等学校体育連盟柔道専門部	6/6～6/8	3
空手道秀練会	6/7	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/7	1
宮城県警察本部	6/11	2
名取市中学校体育連盟	6/13～6/14	6
スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/14	1
岩沼市体育協会	6/14	1
仙台市障害者スポーツ協会	6/20～6/21	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/21	1
宮城県相撲協会	6/21	1
村田町父母教師会連合会	6/28	1
仙南地区柔道スポーツ少年団協議会	6/28	2
スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/28	1
気仙沼市PTA連合会	6/28	2
宮城県柔道連盟	6/28	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/28	1

依頼団体名	日時	合計
石巻柔道協会	12/7	2
仙台市障害者スポーツ協会	12/7	1
仙台市障害者スポーツ協会	12/14	1
全日本空手道連盟	12/14	2
ハンディスポーツアドバンスチーム	12/14	1
仙台市障害者スポーツ協会	12/21	1
仙台市障害者スポーツ協会	1/11	1
みやぎのまつり実行委員会	1/22	2
宮城県高等学校体育連盟柔道専門部	1/24	1
宮城県柔道連盟	1/24	1
柴田郡柔道協会	1/25	1
宮城県柔道連盟	2/1	1
気仙沼・本吉地区中学校体育連盟バレーボール専門部	2/1	2
女川町	2/7	2
仙台けやきライオンズクラブ	2/15	1
東北柔専OB会宮城県支部	2/21	1
宮城県中学校体育連盟柔道専門部	2/21	2
泉区スポーツ少年団	2/21	1
塩竈剣道連盟	3/1	1
東日本ジュニアバスケットボール	3/8	1
宮城県柔道連盟・宮城県柔道少年団	3/22	2
仙台市スポーツ少年団指導者協議会	3/27	1
みやぎ災害救援ボランティアセンター	3/28	1
名取市卓球協会	3/29	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/12	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/12	1
宮城県柔道連盟	4/18	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/19	1
石巻柔道協会	4/19	2
(社)宮城県柔道整復師会	4/26	2
仙台市スポーツ少年団	4/26	1
スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/26	1

平成20年度12月～平成21年6月 会務報告

3 月		2 月		1 月		12 月	
1 日		1 日		1 木		1 月	
2 月		2 月		2 金		2 火	新入会員面接
3 火		3 火	経理打合せ	3 土		3 水	
4 水		4 水		4 日		4 木	広報部作業
5 木	月初送金日 評議委員会	5 木	月初送金日 学会会議	5 月	仙台市新年祝賀会 県医師 会新年会 広報・事業部会	5 金	月初送金日
6 金	申請書締切 保険勉強会 緊急理事会	6 金	申請書締切 保険勉強会 経理打合せ	6 火	月初送金・申請書締切	6 土	申請書締切・保険勉強会
7 土	仙台接骨医療専門学校 卒業式	7 土	選挙管理委員会	7 水	保険勉強会	7 日	日整全国IT会議
8 日	第31回関東柔道整復学	8 日		8 木		8 月	
9 月	総会議案書発送	9 月	三役会 保険打合せ	9 金	市医師会新年会	9 火	水野先生を囲む会
10 火		10 火	会計精査 東北厚生局訪問	10 土	愛知議員新年会	10 水	JA共済連協議会 SSB社長来会
11 水	赤門鍼灸柔整専門学校 卒業式	11 水		11 日	柔整スクール・保険介護 委員会 新年会in江陽H	11 木	広報部会
12 木		12 木	JA事故処理担当者研修会	12 月		12 金	保険部会 会計精査
13 金	統合医療学会東北支部	13 金	三役会	13 火	公明党県本部賀詞交換会	13 土	構築研究委員会
14 土	選挙管理委員会	14 土	高知県法人30周年記念式典 ハンディスポーツアド20周年式典	14 水		14 日	広報部作業 日整委員会
15 日	H20 2回通常総会 東日本医療専門学校卒業式	15 日	高知県法人30周年記念式典	15 木	新入会員面接	15 月	三役会
16 月	県保険審査会 中川久秀会員第37回功労賞受章式	16 月	事業部会 東北厚生局個人指導	16 金	県保険審査会 会計精査	16 火	県保険審査会 第3回柔整政治フォーラム
17 火		17 火	県保険審査会	17 土	構築研究委員会 みやぎ災害ボラ活動報告会	17 水	
18 水		18 水	会計精査	18 日		18 木	日整生涯学習委員会 監査会
19 木		19 木	三役会・理事会	19 月	日整学校説明会(赤門)	19 金	三役会・理事会 評議委員会
20 金		20 金	石橋県議と語る集い	20 火		20 土	
21 土		21 土	埼玉県法人60周年記念式典	21 水	県政報告会今野議員	21 日	
22 日		22 日	埼玉県法人60周年記念式典	22 木		22 月	
23 月		23 月	土井議員国政報告会 秋葉議員スクラムの集い	23 金		23 火	
24 火		24 火		24 土	機能訓練指導員認定講習会	24 水	政治資金規正法に関する 説明会
25 水	北税務署法人 第2部門調査	25 水		25 日	機能訓練指導員認定講習会	25 木	保険関係挨拶回り
26 木		26 木	評議委員会	26 月		26 金	連絡袋発送
27 金	新入会員面接	27 金	月末送金・連絡袋発送	27 火	新入会員面接 構築研究委員会	27 土	評議員議長と三役意見交 換会
28 土		28 土		28 水		28 日	
29 日	日整臨時代議員会			29 木		29 月	月末送金 広報部作業
30 月	学術部会			30 金	月末送金・連絡袋発送	30 火	
31 火	月末送金・連絡袋発送			31 土		31 水	

--	--

6 月		5 月		4 月	
1	月 三役会 広報引継	1	金 歴代会長会	1	水 盛岡医療福祉学校入学式
2	火	2	土	2	木 仙台医健専門学校入学式
3	水 健康保険協会宮城面談	3	日	3	金 第1回選挙管理委員会
4	木 学術部会	4	月	4	土
5	金 月初送金日	5	火 申請書受付業務	5	日 申請書受付業務 東日本医療専門学校入学式
6	土 申請書締切 保険勉強会	6	水 申請書締切 保険勉強会	6	月 月初送金日・申請書締切
7	日 構築研究委員会 広報部会 全国介護保険担当者会議	7	木	7	火 構築学会会議
8	月	8	金 月初送金日 第2回選挙管理委員会	8	水
9	火	9	土 構築研究委員会	9	木 仙台接骨医療専門学校入学式
10	水 各部・委員会打合せ会	10	日	10	金
11	木 新入会員面接	11	月	11	土 構築研究委員会
12	金 第17回日整生涯学習講習会発表 打合せ	12	火	12	日 救急救命法実技講習会
13	土 ミニ学会実行委員責任者会議	13	水 県提出日	13	月
14	日 日整 代議員 通常総会	14	木 審査委員会	14	火
15	月 県提出日	15	金	15	水 県提出日
16	火 審査委員会 新入会員面接	16	土 構築認定委員会	16	木 審査委員会 会計決算書 佐々木税理士
17	水 会計精査	17	日 H21年度通常総会	17	金 会計決算書 佐々木税理士
18	木	18	月	18	土
19	金	19	火	19	日
20	土 第1回ミニ学会	20	水	20	月
21	日 第1回ミニ学会 広報部会	21	木	21	火 監査会①
22	月	22	金 三役会 理事会②	22	水
23	火	23	土 京都法人設立55周年 みやぎ救援ボラ総会	23	木 三役会 理事会① 監査講評
24	水	24	日 京都法人設立55周年	24	金
25	木	25	月	25	土
26	金 保険部会	26	火 評議員会	26	日 第18回柔道大会(女川)
27	土 長野法人設立40周年	27	水 新入会員面接	27	月 新入会員面接
28	日 第56回宮整ゴルフコンペ	28	木	28	火 事業部会
29	月	29	金 月末送金・連絡袋発送	29	水
30	火 月末送金・連絡袋発送	30	土 第2回東北ブロック理事会	30	木 月末送金・連絡袋発送
		31	日 第17回障害者スポーツ大会		

宮城学術認定柔道整復師

※認定基準を満たし、宮城学術認定柔道整復師として登録されている会員の名簿です。(取得単位順)

	第1回 認定者名簿	第2回 認定者名簿	第3回 認定者名簿
認定期間	H16 ('04) 2. 8 ～H19 ('07) 3. 31	H17 ('05) 4. 1 ～H20 ('08) 3. 31	H18 ('06) 4. 1 ～H21 ('09) 3. 31
認定日	H19 ('07) 4. 1	H20 ('08) 4. 1	H21 ('09) 4. 1
認定有効期間	H22 ('10) 3. 31	H23 ('11) 3. 31	H24 ('12) 3. 31
	1. 櫻田 裕 2. 松元 浩二 3. 柴田 仁市郎 4. 藤本 淳也 5. 菊池 秀一 6. 佐藤 秀俊 7. 高橋 英樹 8. 西羅 昭一 9. 上泉 昌隆 10. 佐々木 弘毅 11. 坂爪 輝 12. 岩佐 和之 13. 川村 卓也 14. 笹沼 晃 15. 齊藤 拓幸 16. 藤井 裕文 17. 神成 史也 18. 上野 肇二 19. 櫻本 和夫 20. 目時 誠 21. 小山 高弘 22. 阿部 長市郎 23. 中島 正彦 24. 亀井 啓 25. 笹沼 政實 26. 豊嶋 良一 27. 佐々木 聡 28. 千葉 昌彦 29. 紺野 洋一郎 30. 大崎 智久	1. 中川 利光 2. 池田 昭平 3. 松川 いずみ 4. 新井田 一吏 5. 芦澤 卓也 6. 玉井 巖 7. 渡邊 一治 8. 寺澤 豊志 9. 洞口 直 10. 高橋 昭則 11. 渡部 伸二 12. 佐藤 勝一 13. 寺岡 政治 14. 谷津 公規 15. 郡山 正義	1. 別府 崇幸 2. 今 貴臣 3. 細谷 厚 4. 大崎 智久 5. 笹森 雅元 6. 椎名 亮文

宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員

株式会社 エス・エス・ビー

株式会社 カナケン

株式会社 グローバー

日本プロジェクト株式会社

株式会社メディカルプランニング

燦ケアサービス株式会社

株式会社パールシャープ仙台

マクターエンジニアリング株式会社

宮城県「柔道整復学」構築学会の活動をご理解頂き、学会を支えて頂く賛助会員各社でございます。

宮城県「柔道整復学」構築学会は、会員の皆様が、レセプトシステム・超音波診断装置・医療機器・衛生材料・医薬品のご用命の際には、宮城県「柔道整復学」構築学会として、賛助会員各社を会員の皆様に推奨致します。

宮城県「柔道整復学」構築学会推奨

レセコン・超音波導入のご用命は、安心と信頼のブランド、SSBへ

柔整業界トップのシェアと知名度を誇る実績、 全国に8,000件のユーザーを持つ商品力と信頼！

柔道整復師向けレセプト発行システム

三四郎くんX PLUS

オプションソフトの新規リリースで更に便利に！

保険証OCRソフト

専用スキャナーで保険証の読み取りが可能です。

THE・青色申告

三四郎くんのデータが移動可能な青色申告ソフトです。



接骨院経営を強力にサポートする充実の管理機能！

地域の世代別来院状況、また新患や性別などの入力データを集計し一覧表示が出来ます。また見やすいグラフ表示機能も便利です。

- 月別患者数チェックリストとグラフ
- 月別天候別患者数チェックリストとグラフ
- 世代別来院患者集計表とグラフなど

表やグラフを元に受診者の来院動機・紹介者・趣味・職業・体質・病歴・治療方法などの把握ができます。患者様との信頼関係や接骨院経営などにお役立て下さい。

小型のハンディタイプから重厚なフロアタイプまで、 最新のフルデジタル超音波診断装置ラインナップ

MyLab25



高周波プローブと
先進の画像描出技術による
高画質

人気商品



HS-2100

X6

新開発！12MHzプローブを
採用した新機種登場！



新商品!!

※この他にも様々なタイプの機種を取扱っております。



株式会社 エス・エス・ビー 仙台営業所

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町5-2-10 卸町斎喜ビル301号

TEL:022-236-7211 FAX:022-236-7212

本社:つくば 営業所:東京、札幌、青森、北陸、長野、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

弊社ホームページで各機種のサンプル画像を動画で配信中です。
是非一度ご覧下さい。

業界最新情報はこちらから！

<http://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

微弱電流は

Bio Kanax

バイオカナックス

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

痛みを、筋肉系・神経系かに分けて治療できます。
症状や部位を選べば、プログラム治療ができます。
ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
ディスプレイで、治療状況を把握することができます。
四肢通電法により脳波を 波、 波に誘導して、リラックスさせます。

バイオカナックス

KE-525 **¥892,500**
(本体価格 ¥850,000)



バイオカナックスの仕様

21200BZZ00333000

定格電圧：DC9V 単一型電池（1.5V）×6
消費電流：40mA
出力電流：28μA～500μA
出力電圧：14mV（500 負荷）MAX=35V
出力周波数：0.1Hz～500Hz
出力系統：2チャンネル
外形寸法：H132×W320×D250mm
本体重量：2.3kg



総発売元

医療用具の総合卸



株式会社 **カナケン**

本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471(代) FAX 045-902-9262

デモンストレーション・製品のお問い合わせ

横浜本社：TEL 045-901-5471
大阪営業所：TEL 06-6935-3016

新潟営業所：TEL 025-286-0521
福島営業所：TEL 024-961-7211

<http://www.kanaken.co.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

Resonance Field & Multiplex Wave

Soma Dyne Axie

微弱電流治療器 ソーマダイン アクシー

ソーマダイン(タイプ I)の20年間の実績で培ったノウハウがここに凝縮。

生体の細胞組織が損傷した状態になると正常組織から微弱な電流が流れ自己修復していきます。「ソーマダインアクシー」はその微弱な電流を人工的に作り出し、損傷部位の治癒を促進させます。

損傷部位の治癒を促進する特殊な周波数変調多重波形

ソーマダイン微弱電流は特殊な交流の脈波(周波数変調多重周波)でアデノシン三リン酸(ATP)合成・アミノ酸輸送及び蛋白質合成の増大をもたらすイオンチャンネル電流を増大させ、損傷部位の治癒を促す電流の作用をずっと効果的にします。

モード&プログラム解説

CPUの進化による、多彩なモードと治療プログラムを搭載
 発症期、治療目的、治療部位に合わせたプログラムを搭載し、いろいろな症状に対応し幅広い治療が可能です。

2 モード

D-モード
 自律神経の乱れ等の単独モード
 → 筋・神経等の症状に対応します。

S-モード
 自律神経の乱れ状態に4種類のモードが自動的に切り替わるオートモード(32種類)
 → 経絡等に対応します。

B-MODE TVACUUM-SP-ES

36

4 プログラム

MP-1 MP-1 TVACUUM-SP-ES 36
 筋・神経の疾患

MP-2 MP-2 TVACUUM-SP-ES 36
 筋・神経等の疾患で神経痛

MP-3 MP-3 TVACUUM-SP-ES 36
 神経痛等

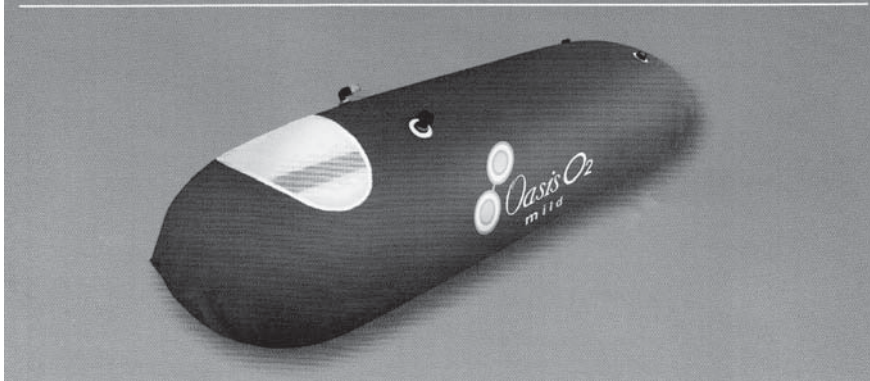
MP-4 MP-4 TVACUUM-SP-ES 36
 神経痛等で頭痛やめまい



オアシス O2 マイルド

現代人の健康維持のため、酸素補給の新習慣。

どこでも気軽に酸素補給。簡易型酸素カプセル、Oasis O2 mild 誕生。



快適さを追求した、1.2気圧専用マットレス

優しい
1.2気圧

Oasis O2 mildの気圧は、水深でいえば1m前後である約1.15~約1.2気圧。耳痛をほとんど感じない気圧なので、どなたでも快適にご利用いただけます。さらに内部に設置された専用マットレスは特殊セラミック入り。脱臭・抗菌作用に優れているほか、遠赤外線・マイナスイオン効果もあるため、より深いリラクゼーションをご期待いただけます。カプセルに入るときも楽なよう、サイドジッパーにしたのもこだわりです。

FDAに合格しています

Oasis O2 mildは、米国軍用開発企業とNASA(宇宙開発)との技術提携によって完成されました。また、FDA(米国食品医薬品局)の厳しい品質テストをパスしています。

若々しさをサポートする溶解型酸素
世界で愛用されている、信頼と安心の実績
酸素の力をしっかり吸収




〒981-8003
仙台市泉区南光台5丁目12-26
TEL022(728)9187 FAX022(728)9188

開業・機械入替の予算で
お困りの方は、ご連絡下さい！



総合医療商社

 **日本プロジェクト株式会社**

本 社

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-11-15
TEL 027-253-5818 FAX 027-253-5817

仙台営業所

〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田2-4-6
TEL 022-282-0944 FAX 022-282-0972

I 接骨院・鍼灸院を専門に開業・総合プロデュース

- ①物件・インテリア・内装・リースに関する提案
- ②開業資金ゼロからスタート出来ます
- ③オープン後の集客まででいねいにアドバイス致します
- ④衛生材料・医薬品・医療機器卸
- ⑤看板・内装・床・カーテン工事・シール 格安！

II セミナー・勉強会開催

- ①機械・材料・エステ・リラクゼーション
事業資金(事業計画書) 勉強会
- ②接骨院・鍼灸院 開業準備勉強会
- ③保険請求勉強会
- ④融資コンサルセミナー(資金調達のポイントを詳しく説明致します)

III 経営コンサルタント事業

- ①プロ営業マン養成(ブログにて詳しく説明！)
- ②企業とのタイアップセミナー提案
- ③経営セミナー(繁盛院・接客・・・)
- ④売上改善計画・リスク支援・各種助成金の提案
※コンサル料は無料！

IV 接骨院レセプト事業

- ①メディカルレセプトシステム「Ver5.0」
安心！確実！格安！
価格50万円(ソフト) 5年リース 月々約1万円
リース終了後、年2万円で保守メンテ。ソフトの買い替え必要無し！

V 損害保険代理店事業

- ①交通事故勉強会
- ②傷害保険勉強会
- ③適正で合理的な保険設計の提案(提携FP)
- ④個人事業・法人事業の保険設計のアドバイス(提携FP)
- ⑤患者様への保険セミナーの提案
- ⑥自動車保険・傷害保険・火災保険・年金保険・・・各種保険の提案

MEDICAL

株式会社メディカルプランニング

〒981-1224

宮城県名取市増田3-2-4

TEL022-382-9768 FAX382-9769

URL <http://www.medical-planning.co.jp/>

高度管理医療機器等販売業

許可番号 岩第M00068号

薬局開設許可番号

岩第A00137号

ホームヘルパーがご自宅に訪問し、笑顔で自分らしい生活を送れるよう、いろいろな角度からサポートいたします。

高齢者のひとり暮らしをサポート

日常生活支援 週1回・1時間以内で利用料金は300円!!

「サンケアサービス」は、仙台市の委託により、75歳以上のひとり暮らしの方を対象とした、ホームヘルパーによる生活必需品の買い物、洗濯、掃除、外出の援助など、気軽にご利用いただける生活支援サービスを行っています。
ご利用は日・祝日・年末年始を除く、午前9時～午後5時まで。お申し込みは下記フリーダイヤルで、お気軽にどうぞ。

(介護保険法の要介護者・要支援者・仙台市の他の制度によるホームヘルプサービス利用者を除く)



ザ・キャッスル北仙台



- 介護保険指定居宅サービス事業所
- 介護予防訪問介護指定居宅サービス事業所
- 生活保護指定居宅サービス事業所
- 障害者自立支援事業所

■福祉や介護に関することなら何でもお気軽にお問い合わせください。

フリーダイヤル



0120(294)392 サンケアサービス

燦ケアサービス株式会社

〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目7-30 ザ・キャッスル北仙台 1階 TEL.022-342-1501 FAX.022-272-0821

<http://www.suncare-s.jp>

お部屋の除菌・消臭装置

ミクロの霧で、除菌・消臭！



ノロウイルス感染予防！



インフルエンザ感染予防！



有害細菌、カビ菌 除菌！



たばこ、悪臭 消臭！



衛生水対応装置（超音波振動子、シール材など特殊素材仕様）
※一般の超音波加湿器では、数ヶ月で故障する場合があります。
噴霧粒子径3ミクロンと非常に微細で、ドライなミスト！
間欠噴霧により、衛生水を少量で効率よく空間に噴霧！
※湿度を殆ど上げないので、一年中ご使用いただけます。

治療機器・手指・待合室の除菌消臭にアミスティシステムのご提案。
手肌を荒れさせることなく安全・快適にご利用いただけます。



衛生水専用 超音波霧化器
UD-200III ×1 台



衛生水 50ppm
4L タンク ×1 本



衛生水 50ppm
500ml スプレー式 ×1 本

■アミスティ®スタートセット (50ppm)

納入価格 **37,275 円** (消費税込)

内訳 ・UD-200III 30,000 円 ×1 台
・衛生水 4L 4,000 円 ×1 本
・衛生水 500ml 1,500 円 ×1 本
・消費税 5%

【 お問合せ先 】

(株)パールシャープ仙台

TEL 022-291-2366

FAX 022-257-2521

フリーダイヤル 0120-422-133

〒983-0838

仙台市宮城野区二の森12番52号

アミスティ衛生水の成分・・・次亜塩素酸ナトリウム（食品添加物）、純水、pH調整剤

治療室（リハビリ）が変わります・・・ 実感できる高周波治療器の治療効果！！

治療後に患者さんの笑顔と感謝の言葉があります！

＜深部に浸透する消炎鎮痛効果＞

深部まで到達する高周波（3万Hz～1万Hz）を利用して
おります。痛みを早期に解消：腰痛、膝痛、むち打ち
症、ぎっくり腰、坐骨神経痛

＜心地よいリラクゼーションで＞

筋の緊張緩和：肩こり、高血圧、四十肩・五十肩
眼精疲労、不眠症、頸肩腕症候群

＜スポーツ後遺症の治療に＞

捻挫、打撲、肉離れ、筋・靭帯損傷、筋肉疲労

＜メタボリック治療に＞

楽な運動（EMS刺激）で脂肪の燃焼を支援！
末梢循環改善で美容（皮膚）と痩身を支援！

デモ受付中

安心・安全なインストラクション（指導）付き
デモンストレーションを実施中です。

干渉電流型治療器 ハイパーモールサミットエクサ



カラー液晶タッチパネル採用
「高周波干渉型治療装置」誕生！



マクターエンジニアリング株式会社

TEL 0276-40-2480 FAX 0276-40-2481

URL <http://www.mdec.co.jp>

E-mail info@mdec.co.jp

貴院の担当営業所 **マクターエンジニアリング仙台営業所**

〒981-0136宮城県宮城郡利府町皆の丘10-1

TEL 022-767-6680 FAX 022-767-6681



高い治療満足度と超音波やレーザーに匹敵する治療効果を兼備！

宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定

2008年(平成20年)11月8日制定

1. 投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が1名以上の共著者となっていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の6つのポイント(約束事、常識)をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にしてください。

1997年(平成9年)、第6回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によってのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思えます。

2. ケースレポートの仕方

- ① ケースレポートをする意義は：
 - i) 非常にめずらしい(レア rare)疾患の場合
 - ii) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどったケース
 - iii) 治療・施術への反応が独特であったケース
 - iv) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行ってみた場合の効果
 - v) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース
- ② どこか誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可(個人情報保護)です。
症例1、症例2などとします。
- ③ この場合も、症例のデータ(写真など)について、自分(達)のものでない場合には、借用先を明記して下さい。

3. データのまとめ方

- ① X線、MRI、その他全てのデータについて、自分(達)が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。(著作権の問題)
- ② データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。
- ③ 各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさないように(個人情報保護)して下さい。
表記は、例えば症例1、症例YZなど。

4. 発表要旨(抄録)の書き方

- ① 5W1H (when いつ、where どこで、who 誰が、what 何を、why どんな目的で、how どのように)が分かるように書いて下さい。
- ② <目的><方法><結果><考察><結論>の順に、要領よく短くまとめます。<結果>には、得られた事実のみを書きます。
- ③ 文章は全て「～であった」「～となった」の、である調、過去形となります。

- ④ 発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。
- ⑤ 原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

5. 執筆要綱

投稿論文の種類と内容説明

- 原著論文 : 新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるものです。
明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。
- 研究報告 : 独創性を問うものではないが、特に柔道整復分野において有用、かつ意義があるものです。
- 症例報告 : 症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたものです。
- 研究資料 : 柔道整復、あるいはそれに関連した資料を主とした情報を提示したものです。
- 短 報 : 内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。
- 治療技術 : 客観的情報を示し、オリジナル性の高いものです。
- その他 : 柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

6. 論文の構成

- 表 題 : 内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とします。
用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。
- 著 者 名 : 著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。
研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。
- 要 旨 : 目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。
- キーワード : 主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。
- 本 文 : 1) はじめに(序文、まえがき、緒言)
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。
これまでの研究との関連性を記載します。
- 2) 対象および方法
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。
特に、方法は関連研究者が追試できる内容とします。
- 3) 結果
実験結果、データ紹介、明らかとなった関連性、観察結果、効果などを記載します。
- 4) 考察
結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。
- 5) 結論(まとめ、結語)
本研究の結果内容を簡潔に記載します。
- 図・写真・表 : 本文に示した順に掲載し、その図表の番号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。
- その他 : 原稿には一連のページ数を記載して下さい。

7. 発表の仕方

- ① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。
- ② 発表時間の厳守
例) 8分間→400字詰原稿用紙8～9枚
10分間→400字詰原稿用紙10～11枚です。
- ③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。
- ④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

8. 提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）1部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

9. 校正

校正は著者が責任を持って行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号
社団法人宮城県柔道整復師会 内
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181
E-mail：mjs@mjs.or.jp

宮城県「柔道整復学」構築研究委員会
委員会特別顧問 佐藤 捷
委員長 酒井 賢一
委員 庄子 和良

訃報



長年の当会への
多大なる
ご尽力に対し
心より感謝し
悲しいお別れに際し
謹んで
お悔やみ申し上げます
ご冥福を
お祈り申し上げます



及川 重雄 会員
(平成21年3月22日没)

編/集/後/記

広報部を任せていただいたから
早三ヶ月が過ぎてしまいました。当
初六月に発刊されるはずでしたこの
No.85が、私の勘違いから遅れに遅れ、
難産も難産、やつこのことでの度、
発刊の運びとなりました。この間、
本当に試行錯誤の繰り返しで、代々
の広報担当の先輩の皆様のご苦労と
努力を身をもって感じた次第です。
大変ではありましたが、名前を挙げ
ればきりがないほど沢山の諸先生の
ご助言をいただき、この会の先生方
の気持ちの熱さ、(厚さ)も強く感じる
ことができた時間でもありました。
長い伝統のあるこの宮整広報の名
を汚すことのないようにNo.86、No.87
と発展性のある良い広報誌を作って
いくように努力を重ねてまいりたい
と思っております。どうかこれから
もよろしくご協力ください。お願い
を申し上げます、初めての編集後
記とさせていただきます。ありがと
うございました。感謝。

宮整広報 編集部

社団法人 宮城県柔道整復師会

宮 整 広 報 No.85

平成21年8月1日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 豊嶋良一
編 集 広報部担当理事 亀井 啓
委員 広報Working Group主任 庄子和良
佐藤敬一 平山 修 千葉勝弘

印刷所 (資) 芳賀美術印刷
〒980-0003
宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号
TEL 022(222)4225(代) FAX 022(222)4228